

パシフィック・ミュージック・
フェスティバル札幌（PMF）2019
経済波及効果算出及び外国人ニーズ調査業務

報 告 書

令和元年 12 月
株式会社ドーコン

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の内容	1
第 2 章 経済波及効果算出調査	3
2-1 調査の概要	3
2-2 調査票	4
2-3 アンケート調査結果.....	6
2-4 イベント来場者による市内総消費額の推計.....	10
第 3 章 PMF2019 の実施による経済波及効果の算出.....	13
3-1 推計する経済波及効果.....	13
3-2 PMF2019 来場者の消費による経済波及効果の算出	21
3-3 PMF2019 の開催経費による経済波及効果の算出	39
3-4 PMF2019 の実施による経済波及効果のまとめ	51
第 4 章 外国人ニーズ調査	54
4-1 調査の概要	54
4-2 調査票	56
4-3 アンケート調査結果.....	60
4-4 今後のインバウンド拡大に向けた考察.....	69

本報告書では、小数点以下を四捨五入している関係で、図表中の総額と内訳の合計が一致しない場合がある。

第1章 調査の概要

1-1 調査の目的

PMF2019 の実施による経済波及効果を算出することにより、経済・観光の観点から音楽祭を評価するとともに、PMF2019 の実施による外国人の来場者調査、ヒアリングによるニーズ調査等を実施し、観光インバウンドの観点から音楽祭の評価を行うことで、経済面・観光面においてより高い効果をもたらす音楽祭とするための検討の一助とする。

1-2 調査の内容

1-2-1 調査対象

PMF2019 の来場者を対象とする。なお、本調査では来場者を以下の3区分で取り扱う。

- ① 札幌市民
- ② 札幌市以外に居住する道民
- ③ 道外客（外国人含む）

1-2-2 調査の流れ

(1) 経済波及効果算出調査

① 来場者アンケート調査の実施

来場者属性及び市内消費額を把握するため、PMF2019 来場者を対象とするアンケート調査を行う。アンケート実施日は、7月10日（水）、13日（土）、14日（日）、20日（土）の4日間、調査票配布数は約5,000票とし、演奏会場での配布・回収をPMF組織委員会が実施する。

② イベント来場者による市内総消費額の推計

来場者アンケート調査結果から、PMF2019 来場者一人当たりの市内消費額（単価）を推計し、これにPMF組織委員会が推計した属性別来場者数を乗じて、PMF2019 来場者による市内総消費額を推計する。

(2) PMF2019 の実施による経済波及効果の算出

推計したPMF2019 来場者による市内総消費額と平成23年札幌市産業連関表を活用し、産業連関分析により、生産波及効果、所得形成効果、雇用効果、税収効果等の経済波及効果を算出する。

同様に、PMF組織委員会が直接支出した開催経費による経済波及効果を算出し、PMF2019 の実施による経済波及効果として整理する。

(3) 外国人ニーズ調査

① 外国人アンケート調査の実施

外国人に対し、PMFの認知度や演奏会の満足度、広報、PMFに来場してもらうために必要

なコンテンツなどを掲載した調査票・Web アンケートフォームを作成し、アンケート調査を行う。アンケート実施日は、7月17日（水）、18日（木）、21日（日）、23日（火）、25日（木）、28日（日）、31日（水）の7日間とし、そのうち7月25日（木）については調査員によるインタビュー調査、それ以外の調査日は演奏会場での配布・回収をPMF組織委員会が実施する。

② 調査結果の分析・取りまとめ

外国人ニーズ調査結果のほか、札幌市が実施する「観光客入込調査」、「宿泊施設利用状況調査」、公的機関等が実施する外国人観光客に関する調査結果等の資料も用いて、PMF2019の開催に伴う観光インバウンドの効果検証及びインバウンドを拡大するための改善点について取りまとめる。

(4) 報告書の作成

算出方法及び集計データ等を記載した報告書を作成する。

第2章 経済波及効果算出調査

2-1 調査の概要

令和元年7月6日（土）から8月2日（金）の期間で開催された「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）2019」のうち、以下の4公演を対象に、来場者アンケート調査を実施した。

図表 2-1 来場者アンケート調査の実施公演

調査日	公演名	開催場所	配布票数
7月10日（水）	PMF ウィーン演奏会	札幌コンサートホール Kitara	383
7月13日（土）	PMF ピクニックコンサート	札幌コンサートホール Kitara	1,500
7月14日（日）	PMF GALA コンサート	札幌芸術の森・野外ステージ	1,626
7月20日（土）	PMF プレミアムコンサート	札幌コンサートホール Kitara	1,422
合 計			4,931

図表 2-2 来場者アンケート調査の概要

項 目	内 容
①調査日程	PMF2019 開催期間のうち4日間 令和元年7月10日（水）、13日（土）、14日（日）、20日（土）
②調査場所	札幌コンサートホール Kitara、札幌芸術の森・野外ステージ
③調査方法	来場者に対して入場時に配布し、閉演後に回収
④調査項目	1. 回答者属性（性別、年代、居住地） 2. 当日の札幌市内での支出額（交通費、宿泊費、飲食費、土産・買い物代など）
⑤回収サンプル数	1,506 サンプル（配布数 4,931 票に対し回収率 30.5%）

図表 2-3 回収サンプル数

7/10 （水）	7/13 （土）	7/14 （日）	7/20 （土）	合 計
156	287	648	415	1,506

2-2 調査票



Pacific Music Festival 2019

30回目の
「ありがとう」

PMF 2019 札幌市内における支出に関する来場者アンケート調査

本日は、PMF 2019のコンサートにご来場いただき誠にありがとうございます。
 公益財団法人PMF組織委員会では、PMFの開催に伴う札幌市内への経済波及効果を算定するため、
 来場者の皆様にアンケート調査をお願いしております。
 ご回答内容は統計的に処理されますので、個別の回答が公表されることはございません。
 大変お手数ですが、皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

Q1 あなたご自身についてお尋ねします。それぞれ該当する番号1つに○を付けてください。

性別	1. 男性	2. 女性			
年齢	1. 小・中学生	2. 高校生～19歳	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代
	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳以上		
お住まい	1. 札幌市内	2. 札幌市近接市町	3. その他北海道内→ (市・町・村)		
	4. 北海道外 (都・府・県)	5. 国外 (国名:)			

Q2 今回のPMFへのご来場に伴い、これからの予定も含め、あなたが札幌市内でお使いになった(又はお使いになる予定の)金額を、概算額で構いませんので教えてください。

以下の注意書きをお読みになった上で、下欄の支出項目別にご記入をお願い致します。

- 札幌市内での支出が対象となります。交通費のうち、札幌市内と札幌市外にまたがるものは、支出額の半額をご記入ください。
- 今回のPMFへのご来場に伴う支出が対象となります。日帰りでご来場の方は本日の札幌市内での支出額、宿泊を伴う旅行中に来場の方は札幌市内に滞在中の支出額を、ご予定も含めご記入ください。
- クレジットカード等による事前・事後精算の場合も、今回のPMFへのご来場に伴う支出と考えられるものは含めてご記入ください(例: 宿泊費の事前カード払い、交通系ICカードによる運賃支払い等)。
- 各項目は**お一人当たりの金額**としてください。複数人分の支出がある場合は、できる限り人数割りしてご記入をお願い致します。

	支出項目	支出金額
① 交通費	航空機(丘珠空港) ※新千歳空港は市外のため含みません	円/人
	JR、地下鉄、市電	円/人
	バス、タクシー・ハイヤー	円/人
	駐車料金、レンタカー代	円/人
	ガソリン代	円/人
② 宿泊費	※宿泊と交通機関のバック料金の場合は①に含めずこちらに総額記入	円/人
③ 土産・買い物代	PMF会場内(オフィシャルグッズ、公式プログラムなど)	円/人
	PMF会場外	円/人
④ 飲食費	PMF会場内での飲食	円/人
	PMF会場外での飲食	円/人
⑤ 入場料・施設利用料	PMFチケット代(前売券・当日券問わずご記入ください)	円/人
	その他の施設利用料(美術館、温泉、スポーツ観戦など)	円/人
⑥ その他	※費目のご判断が付かない場合は、こちらに費目をご記入ください	
		円/人
		円/人
		円/人

調査内容は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。



Pacific Music Festival 2019

30回目の
「ありがとう」

PMF 2019 Questionnaire for Visitors about Spending in Sapporo

Thank you for coming to a PMF 2019 concert today. The PMF Organizing Committee asks visitors to PMF to fill out a questionnaire to help us gauge the economic ripple effect of PMF on Sapporo.

Your answers will be statistically processed, and no individual answers will be made public.

Thank you for your time, understanding and cooperation.

Q1. About you. Please circle the appropriate number.

Gender: 1. Male 2. Female

Age: 1. Elementary/junior high school students 2. High school students – 19 yr. old 3. 20 – 29 yr. old
4. 30 – 39 yr. old 5. 40 – 49 yr. old 5. 50 – 59 yr. old 7. 60 – 69 yr. old 8. 70 or older

Place of residence: 1. Sapporo 2. Municipality near Sapporo

3. Other municipality in Hokkaido ()

4. Other prefecture than Hokkaido ()

5. Overseas country ()

Q2. Please indicate the estimated amounts that you have spent or will spend in Sapporo for your visit to PMF.

Please read the following instructions before filling in the blanks below.

- Only the amount spent in Sapporo is surveyed. For the amount spent on travel in and outside of Sapporo, please enter half of the combined total.
- Only the amount spent for your visit to PMF this time is surveyed. If you are a day-tripper, please enter the amount spent in Sapporo on the day. If you are staying in Sapporo, please enter the amount spent during your stay in Sapporo.
- Please indicate the total amount spent for your visit to PMF, including pre- and post-payments by credit card (e.g., pre-payment for accommodation by credit card, fare payment using a public transit IC card).
Please indicate the amount spent per person for each item. If an amount of money is spent for multiple people, divide the amount by the number of the people.

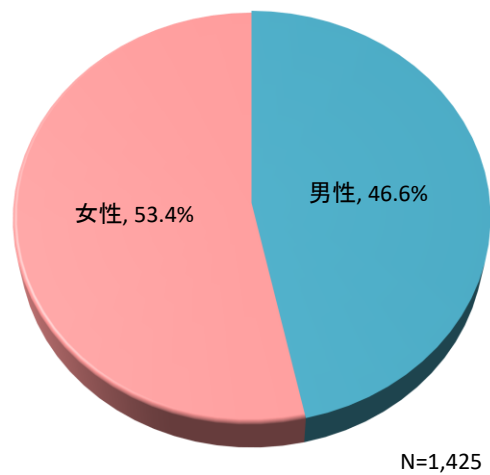
	Item of spending	Amount of money spent
1) Transportation	Airfare (Okadama Airport) *An airfare for a flight via New Chitose Airport is not included since the airport is outside the city.	Yen/person
	JR, subway, streetcar	Yen/person
	Bus, taxi	Yen/person
	Parking, rental car	Yen/person
	Gas	Yen/person
2) Accommodation	*For a fee for a package tour that includes accommodation and transportation, do not include transportation fees in 1), but indicate the total amount here.	Yen/person
3) Souvenirs/gifts and shopping	In the PMF venues (e.g., official goods, official program)	Yen/person
	Outside the PMF venues	Yen/person
4) Eating and drinking	Eating and drinking in the PMF venues	Yen/person
	Eating and drinking outside the PMF venues	Yen/person
5) Admission and facility use	PMF ticket (please indicate the fee regardless of whether you bought an advance ticket or a same-day ticket.)	Yen/person
	Usage fee for other facilities (e.g., art museum, hot springs, sports viewing)	Yen/person
6) Others	*Please list any items that don't fit any of the above categories here.	
		Yen/person
		Yen/person
		Yen/person

Thank you for your cooperation.

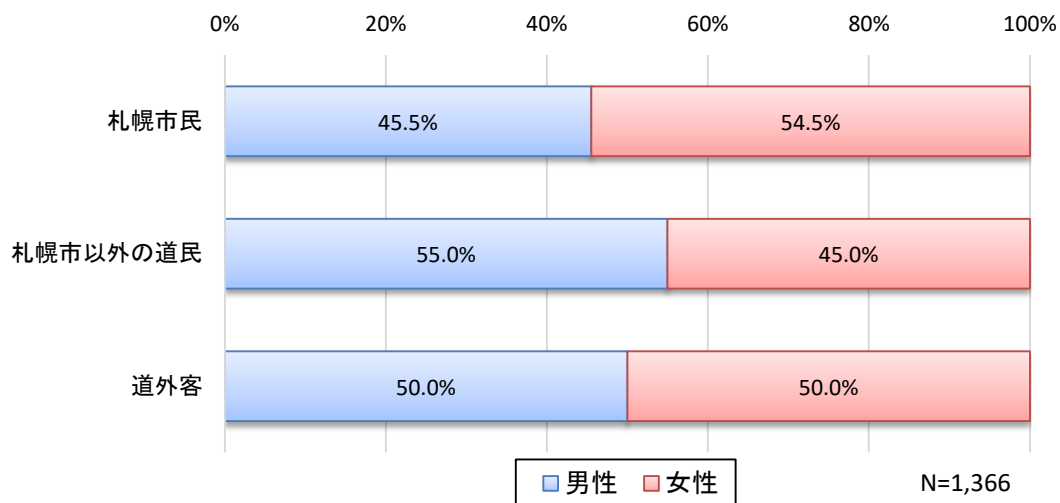
2-3 アンケート調査結果

(1) 性別

来場者の性別は、全体では「男性」46.6%、「女性」53.4%と、女性の来場者割合が若干高くなっている。札幌市民では「女性」が54.5%と多く、札幌市以外の道民では「男性」が55.0%と多い。道外客は50.0%で男女同数であった。



図表 2-4 来場者の性別(全体)

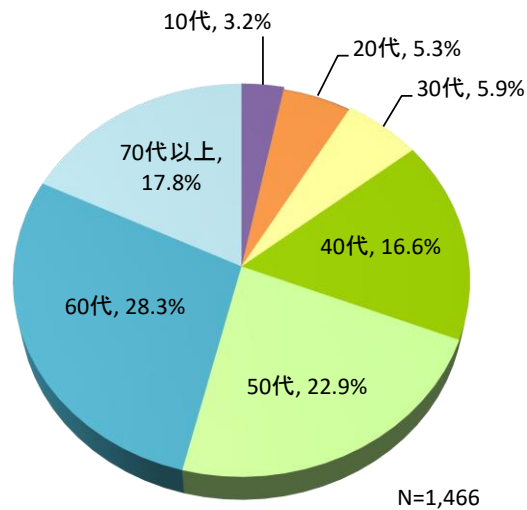


図表 2-5 来場者の性別(属性別)

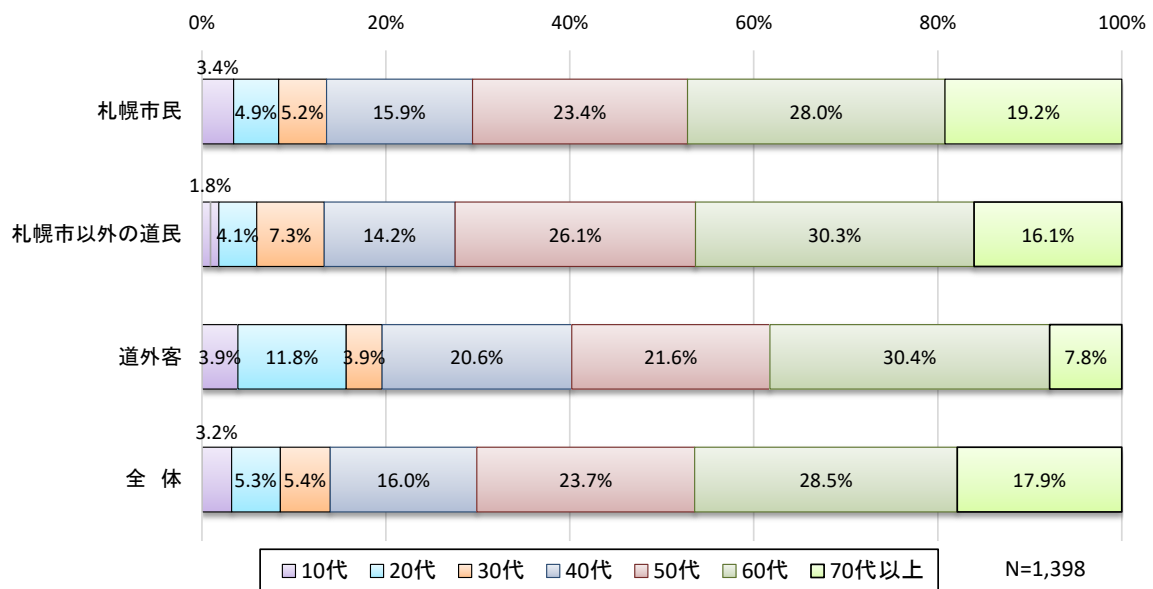
(2) 年代

来場者の年代は、全体で「60代」28.5%、「50代」22.9%、「70代」17.8%、「40代」16.6%となっており、40代以上が86.1%を占める。

属性別では、道外客で「20代」が11.8%と多くなっている。



図表 2-6 来場者の年代(全体)

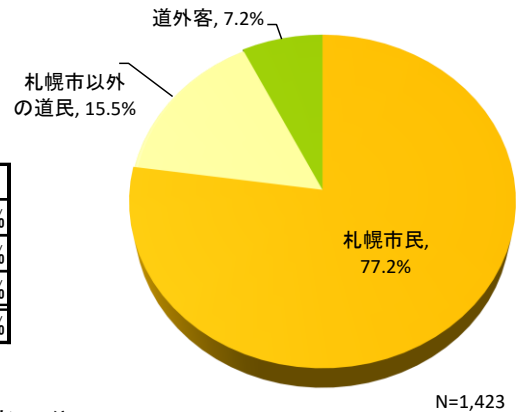


図表 2-7 来場者の年代(属性別)

(3) 来場者区分

札幌市民 77.2%、札幌市以外の道民 15.5%、道外客 7.2%となった。

来場者居住地区分	回答数(N)	割合(%)
札幌市民	1,099	77.2%
札幌市以外の道民	221	15.5%
道外客	103	7.2%
合計	1,423	100.0%



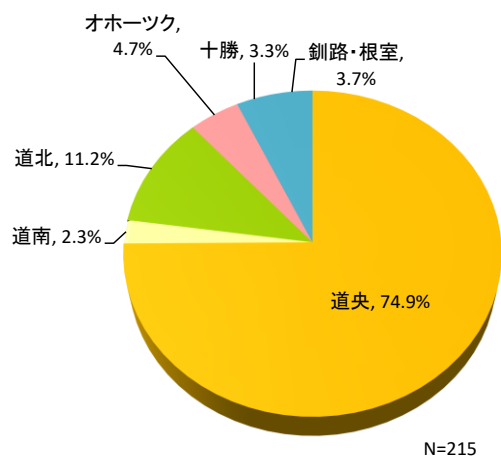
図表 2-8 来場者区分

このうち、札幌市以外の道民の内訳は、道央からの来場者が 74.9%と最も多かった。

来場者居住地区分	回答数(N)	割合(%)
道央	161	74.9%
道南	5	2.3%
道北	24	11.2%
オホーツク	10	4.7%
十勝	7	3.3%
釧路・根室	8	3.7%
合計	215	100.0%

※無回答

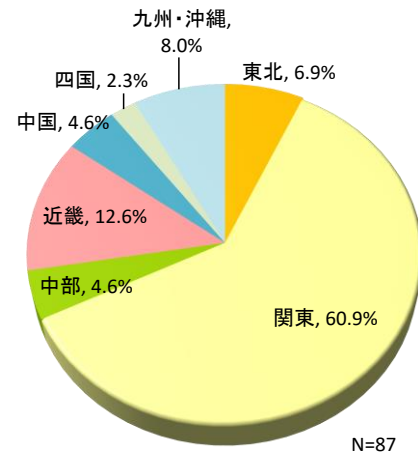
6



図表 2-9 札幌市以外の道民の内訳

道外客の居住地内訳は、関東が 60.9%と最も多く、次いで近畿 12.6%、九州・沖縄 8.0%、東北 6.9%の順となった。

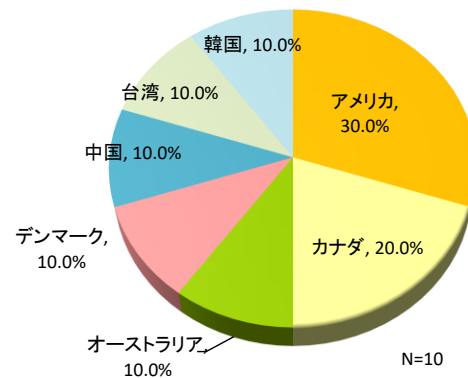
来場者居住地区分	回答数(N)	割合(%)
東北	6	6.9%
関東	53	60.9%
中部	4	4.6%
近畿	11	12.6%
中国	4	4.6%
四国	2	2.3%
九州・沖縄	7	8.0%
合計	87	100.0%



図表 2-10 道外客の内訳

外国人客は、アメリカ 3 名、カナダ 2 名、その他以下のとおりである。

来場者居住地区分	回答数(N)	割合(%)
アメリカ	3	30.0%
カナダ	2	20.0%
オーストラリア	1	10.0%
デンマーク	1	10.0%
中国	1	10.0%
台湾	1	10.0%
中国	1	10.0%
合計	10	100.0%



図表 2-11 外国人客の内訳

2-4 イベント来場者による市内総消費額の推計

2-4-1 市内消費額単価の推計

市内消費額単価は、アンケートで回答された消費総額を属性別回答者数（無効回答を除く有効回答数）で除することにより求めた。

$$\bigcirc \text{市内消費額単価} = \text{消費総額} \div \text{有効回答数}$$

推計結果は以下のとおりであり、札幌市民 3,060 円、札幌市以外に居住する道民 10,647 円、道外客 54,664 円となった。

図表 2-12 PMF2019 来場者の市内消費額単価(購入者単価、全体単価)

費 目	札幌市民 N=1,099			その他道民 N=221			道外客 N=103		
	購入率	購入者単価	全体単価	購入率	購入者単価	全体単価	購入率	購入者単価	全体単価
交通費	86.0	1,144	983	95.9	3,497	3,355	88.3	10,498	9,275
航空機	0.0	0	0	2.3	8,720	197	15.5	27,381	4,253
JR・地下鉄・市電	60.5	889	538	51.1	1,940	992	65.0	2,334	1,518
バス・タクシー・ハイヤー	19.1	1,064	203	19.9	2,071	412	36.9	3,931	1,450
駐車料金・レンタカー代	16.0	1,009	162	27.1	1,667	453	14.6	7,547	1,099
ガソリン代	13.0	619	81	41.6	3,124	1,300	13.6	7,014	953
宿泊費	0.3	6,667	18	16.7	10,227	1,712	63.1	40,628	25,639
土産・買い物代	19.2	2,338	449	38.5	6,487	2,495	56.3	6,416	3,613
会場内での土産・買い物	16.1	2,024	326	20.4	3,322	676	30.1	2,371	714
会場外での土産・買い物	4.3	2,873	123	24.0	7,583	1,819	38.8	7,465	2,899
飲食費	54.0	2,664	1,440	76.5	3,728	2,851	83.5	18,486	15,435
会場内での飲食	32.4	1,237	401	32.1	1,136	365	36.9	1,456	537
会場外での飲食	34.2	3,037	1,039	62.4	3,981	2,486	68.9	21,613	14,898
入場料・施設利用料	2.5	3,191	78	9.5	2,471	235	18.4	3,112	574
その他	1.7	5,298	92	0.0	0	0	1.9	6,650	129
合 計			3,060			10,647			54,664

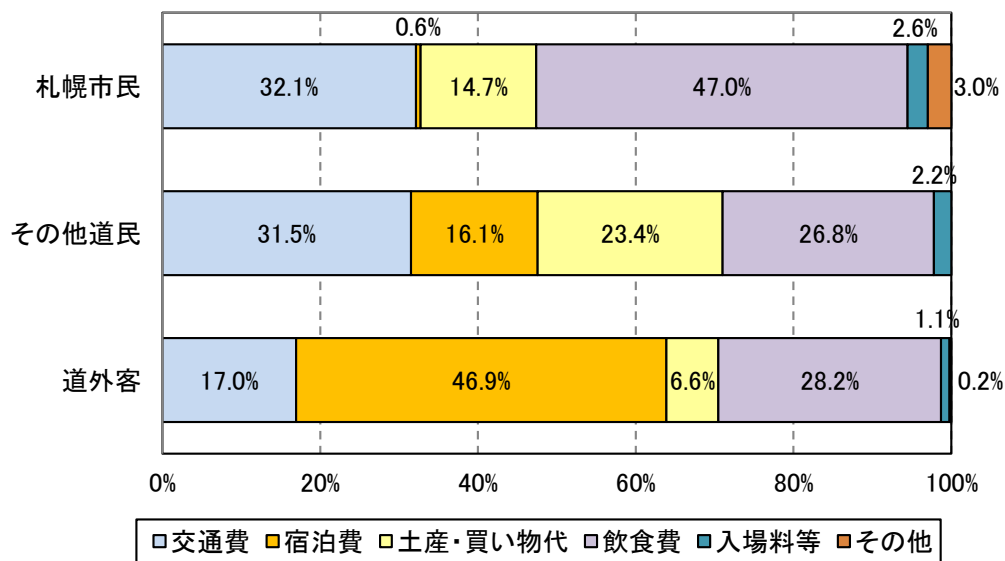
【用語の説明】

購入率：回答者数に対して当該費目に支出した回答者（購入者）の割合。

購入者単価：当該費目の平均支出額（支出総額÷購入者数）

全体単価：当該費目に支出していない回答者（非購入者）も含めた平均支出額（支出総額÷回答者数、もしくは、購入率×購入者単価）

属性別に消費単価をみると、札幌市民の全体単価 3,060 円のうち、飲食費 1,440 円 (47.0%)、交通費 983 円 (32.1%) の割合が多くなっている。札幌市以外に居住する道民は、全体単価 10,647 円のうち、交通費 3,355 円 (31.5%)、飲食費 2,851 円 (26.8%)、土産・買い物代 2,495 円 (23.4%) の順となっている。また道外客は、全体単価 54,664 円のうち、宿泊費が 25,639 円 (46.9%) を占め、次いで飲食費が 15,435 円 (28.2%)、交通費 9,275 円 (17.0%) となっている。



図表 2-13 属性別消費単価構成比

2-4-2 市内総消費額の推計

市内総消費額は、推計した市内消費額単価に、PMF 組織委員会が推計した属性別来場者数を乗じて推計した。

$$\text{○市内総消費額} = \text{市内消費額単価} \times \text{来場者数}$$

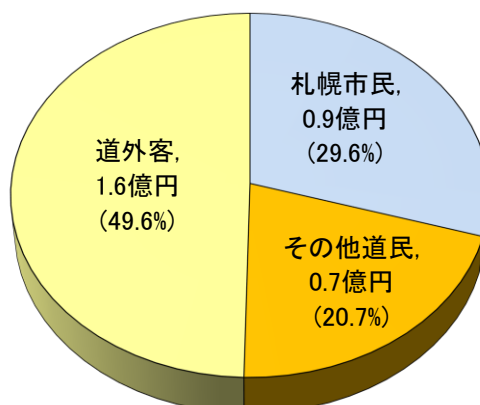
推計結果は以下のとおりであり、PMF2019 来場者による市内総消費額は 3.1 億円と推計された。

図表 2-14 PMF2019 来場者による市内総消費額

区 分	消費額単価 (円/人)	来場者数 (人)	総消費額 (百万円)	構成比 (%)
札幌市民	3,060	30,419	93	29.6%
札幌市以外に居住する道民	10,647	6,117	65	20.7%
道外客	54,664	2,851	156	49.6%
合 計	—	39,387	314	100.0%

市内総消費額の属性別内訳は、札幌市民による市内消費が 0.9 億円（29.6%）、札幌市以外に居住する道民による市内消費が 0.7 億円（20.7%）、道外客による市内消費が 1.6 億円（49.6%）となっている。

道外客については、来場者ベースでは全体のわずか 7.2%にすぎないものの、市内滞在中の宿泊費や飲食費の支出により、消費額単価が 54,664 円と高く、消費額ベースでは全体の約 5 割を占めている。



図表 2-15 市内総消費額の属性別構成比

第3章 PMF2019 の実施による経済波及効果の算出

PMF2019 来場者による市内総消費額と平成 23 年札幌市産業連関表（66 部門表）を活用し、生産波及効果、所得形成効果、雇用効果、税収効果等の経済波及効果を推計することにより、PMF2019 来場者の消費や開催経費による支出が市内産業にもたらす経済効果を分析する。

3-1 推計する経済波及効果

3-1-1 生産誘発効果

ある産業部門の最終需要が増加した場合、それを満たすために当該産業部門の生産が増加するとともに、原材料等の購入や雇用者所得の増加によって他の産業部門の生産も連鎖的に誘発されていく。これらの効果を「生産誘発効果」という。

生産誘発効果は、さらに次のように分けることができる。

①直接効果（最終需要額）

- ・新規需要の発生により誘発される生産増加で、新規需要額に域内自給率を乗じることにより求められる。

②原材料波及効果（第一次波及効果）

- ・新規需要（直接効果）の生産に投入される中間需要（原材料、サービスなど）を生産するために誘発される生産増加。
- ・直接効果に投入係数、域内自給率及び逆行列係数を乗じることにより求められる。

産業連関分析においては、一般的に「均衡産出高モデル」が用いられている。均衡産出高モデルとは、ある最終需要が発生したとき、それに対応して増加する域内生産額を計測するものである。

一般に、地域内の総需要と総供給のバランスは次のように表すことができる。

$$U + F + E = X + M \quad \dots \dots \dots (1)$$

このとき、

U：中間需要 F：域内最終需要ベクトル E：移輸出ベクトル

X：均衡産出額ベクトル M：移輸入ベクトル

ここで、Aを投入係数行列とおくと、 $U = AX$ になるので、(1)式は次のように書き換えることができる。

$$AX + F + E = X + M \quad \dots \dots \dots (2)$$

中間需要 $U = AX$ と域内最終需要Fに対する移輸入Mの比率、すなわち移輸入係数ベクトルを $\tilde{M} = M/(AX + F)$ とすると、

$$M = \tilde{M}(AX + F)$$

となるので、これを(2)式に代入すると、

$$AX + F + E = X + \tilde{M}(AX + F)$$

となる。これをXについて解くと次のようになり、(3)式が均衡産出高モデルといわれる。

$$\begin{aligned}
[I - (I - \tilde{M})A]X &= (I - \tilde{M})F + E \\
X &= [I - (I - \tilde{M})A]^{-1}[(I - \tilde{M})F + E] \quad \dots \dots \dots (3)
\end{aligned}$$

(3)式の右辺の $[I - (I - \tilde{M})A]^{-1}$ は開放型の逆行列係数、 $(I - \tilde{M})$ は域内自給率であり産業連関表から読み取ることができるため、(3)式に域内最終需要 F と移輸出 E を与えることにより、均衡産出額（域内生産額） X を求めることができる。

3-1-2 家計迂回効果

家計迂回効果（第二次波及効果）とは、生産誘発効果によって増加した生産によって各産業部門における雇用者所得が増加し、それが消費に転換することによってさらなる生産誘発を生み出す効果である。

直接効果及び原材料波及効果の生産誘発額と雇用者所得率から全産業部門の雇用者所得額を算出し、消費転換率や民間消費パターン、域内自給率及び逆行列係数を乗じることにより求められる。

このように家計消費を波及効果に組み入れたモデルを「家計消費内生モデル」という。

いま、最終需要を次のように定義する。

F_c ：地域内家計消費（雇用者所得の増加により誘発される消費）

F' ：家計消費以外の最終需要

このとき、 $F_c = cvX$ とおく。

c ：消費転換率を民間消費パターンで配分したベクトル

v ：雇用者所得率ベクトル

移輸入は地域内家計消費 F_c に対して依存すると考えると、 $\tilde{M} = M/(AX + F_c + F)$ となるので、

$$M = \tilde{M}(AX + F_c + F)$$

となる。

また、総需要と総供給のバランス式である(1)式についても、上記の定義から、

$$U + F_c + F' + E = X + M$$

$$AX + cvX + F' + E = X + \tilde{M}(AX + cvX + F') \quad \dots \dots \dots (4)$$

と書き換えることができる。

この(4)を X について解くと次のようになり、これが家計消費内生モデルである。

$$X = [I - (I - \tilde{M})(A + cv)]^{-1}[(I - \tilde{M})F' + E] \quad \dots \dots \dots (5)$$

ただし、このとき $X = X_1 + X_2 + X_3 + \dots + X_n$ である。

家計消費内生モデルとは、家計消費部門を一つの産業部門と考え、労働力という生産物で産業間取引を行うとみなすモデルである。このモデルを用いると、家計迂回効果の波及効果は生産増→所得増→消費増→生産増・・・というように逐次的に進行していき、理論上は生産誘発額がゼロになるまで続いていくことになる。本推計では、こうした各段階での生産誘発額をすべて合計したものを家計迂回効果として推計する。

しかし、産業連関分析が基本的に短期（通常1年間を想定）の経済活動を対象としていることや、現実の経済では在庫の取崩し等による波及の中断や、タイムラグの問題が生じることから、家計迂回効果の対象を二次効果までに限定して分析を行う事例も多い。このとき「二次効果」とは、下図における「生産誘発額（2次）」を指している。

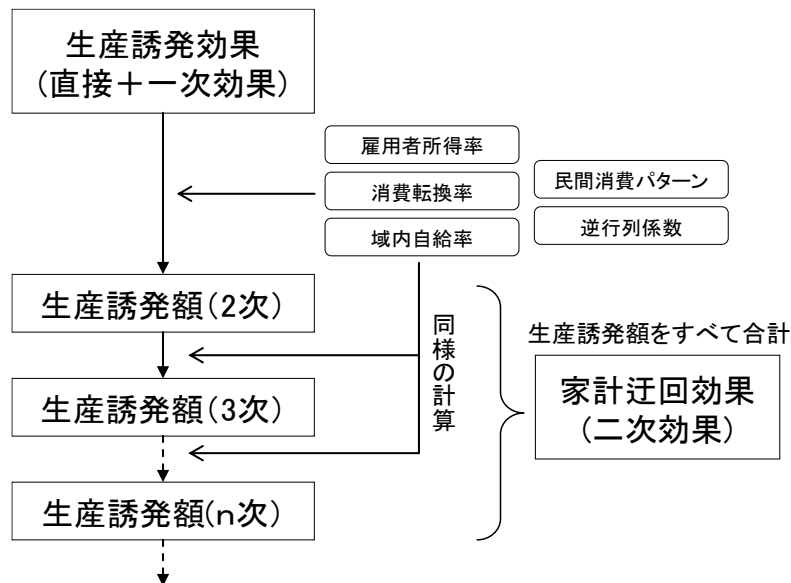
その場合のモデル式は次のようになる。

$$X_1 = [I - (I - \tilde{M})A]^{-1}[(I - \tilde{M})F + E]$$

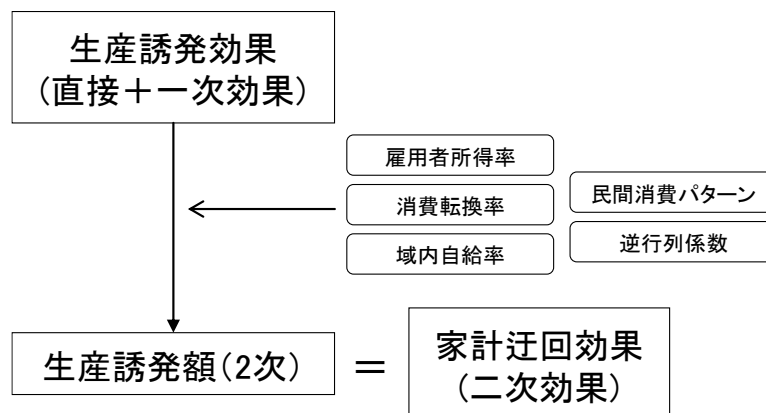
$$X_2 = [I - (I - \tilde{M})]^{-1}(I - \tilde{M})(cv)X_1 \cdots \cdots \cdots (6)$$

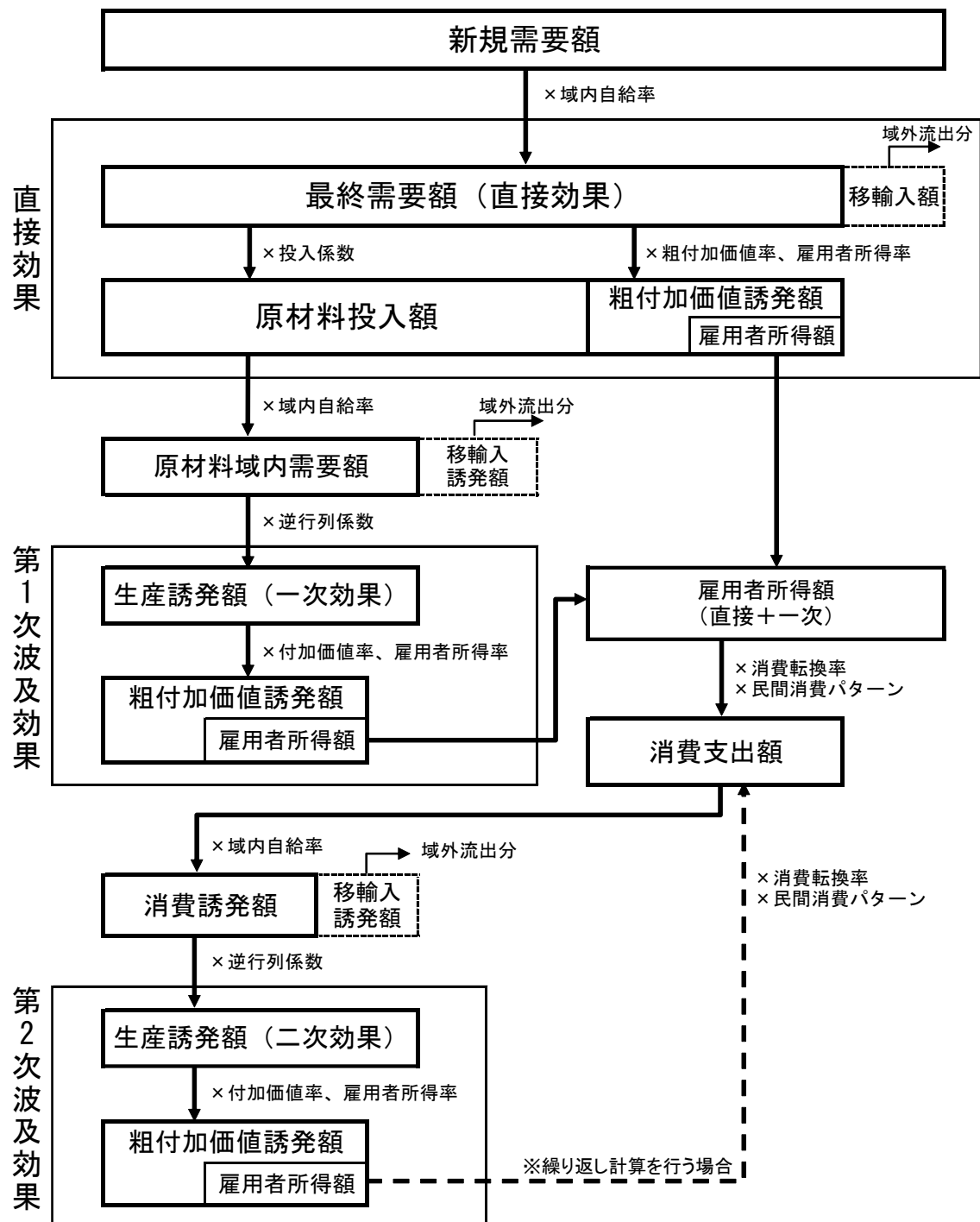
$$X = X_1 + X_2$$

■家計消費内生化モデルを用いた家計迂回効果の推計イメージ



■分析対象を二次効果までに限定した家計迂回効果の推計イメージ





図表 3-1 生産波及効果の推計フロー

3-1-3 所得形成効果（付加価値効果）

所得形成効果は各産業部門における一連の生産活動によって新たな価値として生じた付加価値（雇用者所得や企業の利潤等）であり、生産波及効果に付加価値率を乗じることにより求める。

ここでの付加価値とは、粗付加価値部門計から家計外消費支出を差し引いたものであり、市内総生産（GDP）に相当する。

○所得形成効果＝生産波及効果×付加価値率

○付加価値率＝（粗付加価値部門計－家計外消費支出）÷市内生産額

3-1-4 雇用効果（雇用者誘発数）

生産波及効果に雇用係数を乗じることにより、市内消費によって生み出される雇用者数を推計する。

ここでの「雇用者」とは、就業者のうち常用雇用者及び臨時・日雇雇用者をいう。

○雇用効果＝生産波及効果×雇用係数

○雇用係数＝雇用者数÷市内生産額

3-1-5 税収効果（試算）

札幌市の市税収入額（平成30年度決算額）と生産波及効果から、市内消費による税収効果（誘発税収額）を試算する。税収効果は、個人分直接税、法人分直接税、間接税の区分で推計する。

本推計においては、国土交通省観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」による税収効果の推計方法を参考とする。

まず、市税収入額のうち個人分直接税収入額と雇用者所得から個人税収係数を算出し、雇用者所得効果と乗じることにより個人の税収効果を試算する。また、法人分直接税収入額と市内生産額から法人税収係数を算出し、生産波及効果と乗じることにより法人の税収効果を試算する。さらに、間接税収入額と市内総生産から間接税税収係数を算出し、所得形成効果と乗じることにより間接税の税収効果を試算する。

○個人の税収効果＝（個人直接税収入額÷雇用者所得）×雇用者所得効果※

○法人の税収効果＝（法人直接税収入額÷市内生産額）×生産波及効果

○間接税の税収効果＝（間接税収入額÷市内総生産）×所得形成効果

※雇用者所得効果＝生産波及効果×雇用者所得率

3-1-6 推計に用いる各種係数・データ

本推計において用いる各種係数及びデータは以下のとおりである。

図表 3-2 各種係数・データの算出方法

係数・データ	出典・算出方法
産業連関表	札幌市市長政策室政策企画部「平成 23 年札幌市産業連関表」 66 部門表
域内自給率	1－移輸入係数
移輸入係数	$(\text{移入額}) + (\text{輸入額}) \div \text{市内需要合計}$ 平成 23 年札幌市産業連関表（取引基本表）
消費転換率	平均消費性向（消費支出÷可処分所得） 総務省「家計調査報告」における平成 28 年勤労者世帯平均値（札幌市）
民間消費パターン	部門別民間消費支出÷民間消費支出内生部門計 平成 23 年札幌市産業連関表（取引基本表）
雇用者所得率	雇用者所得÷市内生産額
雇用者所得	平成 23 年札幌市産業連関表（取引基本表）
市内生産額	平成 23 年札幌市産業連関表（取引基本表）
付加価値率	$(\text{粗付加価値部門計} - \text{家計外消費支出}) \div \text{市内生産額}$ 平成 23 年札幌市産業連関表（取引基本表）
雇用係数	雇用者数÷市内生産額
雇用者数	総務省「平成 27 年国勢調査報告」における市内産業別就業者数
税收効果(個人分)	個人税收係数×雇用者所得効果
税收効果(法人分)	法人税收係数×生産波及効果
税收効果(間接税分)	間接税税收係数×所得形成効果
個人税收係数	個人直接税収入額÷雇用者所得
法人税收係数	法人直接税収入額÷市内生産額
個人税收係数	間接税収入額÷市内総生産
市税収入額	札幌市財政局税政部「平成 30 年度市税決算額内訳」
市内総生産	札幌市市長政策室政策企画部「平成 28 年度札幌市民経済計算」

図表 3-3 税収効果の推計に用いる各種課税項目

課税対象		市町村税
直接税	個人	市町村民税（個人） 固定資産税 ※ 軽自動車税 ※ 特別土地保有税 ※ 都市計画税 ※
	法人	市町村民税（法人） 固定資産税 ※ 軽自動車税 ※ 特別土地保有税 ※ 事業所税 都市計画税 ※
間接税		市町村たばこ税 入湯税

※課税対象者が特定できないため、法人と個人に半額ずつ配分

3-1-7 推計にあたっての前提条件

産業連関分析を行う上では、次のような仮定や前提条件があることに注意しなければならない。

(1) 産業連関分析における基本的仮定

- ①すべての生産は最終需要を満たすために行われ、生産を行う上での制約条件（ボトルネック）は一切ない。そのため、例えば生産能力の限界によって生産が停止するといった事態は発生しない。
- ②生産波及は途中段階で中断することなく最後まで波及する。つまり、追加需要の増加にはすべて生産増で対応し、在庫取り崩し等による波及の中断はない。
- ③各商品と各産業部門とは1対1の関係にあり、1つの生産物（商品）はただ1つの産業部門から供給される。したがって、複数の産業部門が1つの生産物を供給したり、1つの産業部門が複数の生産物を供給することはない。
- ④商品の生産に必要な投入構造は生産物（商品）ごとに固有であり、かつ、短期的には変化せず一定である。したがって、生産技術の変化や財・サービスの価格変化等に伴う投入構造の変化はない。
- ⑤各産業部門が使用する投入量はその部門の生産水準に比例する。そのため、大量生産によってコストが減少する規模の経済は成立せず、生産水準が2倍になれば原材料等の投入量も2倍になる。
- ⑥各産業部門が生産活動を個別に行った効果の和は、それらの産業部門が生産活動を同時に行ったときの総効果に等しい。すなわち、産業部門間の相互干渉はなく、ある産業の生産活動が他産業の生産活動に影響を及ぼす外部経済や外部不経済は存在しない。
- ⑦波及効果の達成される期間は不明である。

(2) 分析上の前提条件

- ①本推計は平成23年札幌市産業連関表を使用するため、平成23年における生産構造・技術構造を分析の前提としている。そのため、分析対象時点の産業構造と完全に一致するものではない。
- ②推計方法や分析に用いる各種係数の設定によって、分析結果は異なる。

3-2 PMF2019 来場者の消費による経済波及効果の算出

イベント来場者の消費から経済波及効果を推計する具体的な手順は以下のとおりである。

①産業部門別消費額の推計

市内総消費額と市内消費額単価の費目別構成比から、来場者の区分ごとに費目別市内消費額を算出した上で、分析する産業部門（66 部門）への組み替えを行い、産業部門別消費額を推計する。

②産業部門別新規需要額の推計

購入者価格で表示されている産業部門別消費額のうち、商業マージン及び国内貨物運賃を商業部門及び運輸部門に振り分け、生産者価格へ変換することにより、産業部門別新規需要額を推計する。

③産業連関分析

生産者価格に変換した産業部門別新規需要額と平成 23 年札幌市産業連関表を用いて産業連関分析を行い、PMF2019 来場者による消費が市内産業にもたらす生産波及効果、所得形成効果、雇用効果、税収効果等の経済波及効果を推計する。

3-2-1 産業部門別新規需要額の推計

(1) 産業部門別消費額の推計

市内総消費額と市内消費額単価の費目別構成比から、来場者の区分ごとに費目別市内消費額を算出した上で、分析する産業部門（66 部門）への組み替えを行い、産業部門別消費額を推計した。

なお、費目別市内消費額を算出するにあたり、来場者アンケート調査で把握していない細目の消費額（土産・買い物代、入場料・施設利用料、その他の支出）については、「第 5 回札幌市観光産業経済効果調査」における消費額構成比を用いて推計した。

図表 3-4 費目別市内消費額

(単位:百万円)

	項 目	札幌市民	その他道民	道外客	合計
交通費	飛行機(北海道内路線、遊覧飛行)	0.0	1.2	12.1	13.3
	鉄道(JR)	14.6	5.6	4.0	24.3
	地下鉄・市電	1.6	0.5	0.3	2.4
	リフト・ロープウェイ	0.1	0.0	0.0	0.1
	バス	3.2	2.0	3.0	8.3
	タクシー・ハイヤー	2.9	0.5	1.1	4.5
	船舶(遊覧船など)	0.0	0.0	0.0	0.0
	レンタカー代	1.3	0.3	2.7	4.4
	ガソリン代	2.4	8.0	2.7	13.1
	有料道路、駐車料金	3.6	2.4	0.4	6.5
宿泊費	宿泊費(キャンプ場使用料含む)	0.6	10.5	73.1	84.1
飲食費	食事、喫茶、飲酒	43.8	17.4	44.0	105.2
土産・買い物代	農産品(果物・野菜・花など)	0.6	0.9	0.4	1.9
	農畜産加工品(ハム・ソーセージ・乳製品・ジャムなど)	0.3	0.4	0.3	1.0
	水産品(鮮魚・魚介類など)	0.2	0.2	2.6	3.0
	水産加工品(干物・練製品・魚卵など)	0.1	0.1	0.9	1.1
	菓子類	3.9	1.8	2.7	8.3
	お弁当・飲料・酒・茶菓・タバコ・その他の食料品	4.2	2.3	1.2	7.7
	繊維製品(衣料品、帽子、ハンカチなど)	2.2	5.7	1.3	9.2
	靴・カバン類	0.6	1.8	0.3	2.7
	陶磁器・ガラス製品	0.1	0.2	0.0	0.3
	絵葉書・本・雑誌など	0.2	0.4	0.1	0.7
	木製の小物・家具・装飾品・和紙など	0.2	0.4	0.1	0.6
	医薬品・化粧品(ハミガキ・シャンプーなど)	0.1	0.3	0.1	0.5
	フィルム(使い捨てカメラ含む)・ビデオテープ	0.0	0.0	0.0	0.0
	電気製品・電池・メモリーカードなど	0.3	0.3	0.0	0.6
	カメラ・ビデオカメラ・眼鏡・時計	0.0	0.3	0.0	0.3
	その他の製造品(文具・玩具など)	0.7	0.4	0.2	1.3
入場料・施設利用料	立ち寄り温泉・混浴施設・エステ	0.4	0.1	0.2	0.7
	テーマパーク・遊園地・博覧会など	0.0	0.0	0.3	0.4
	美術館・博物館・動物園・水族館・植物園など	0.1	0.0	0.1	0.3
	ゴルフ場・テニスコートなど	0.5	0.1	0.3	0.8
	スキー場リフト代	0.1	0.1	0.1	0.2
	スポーツ観戦・芸術鑑賞(コンサート・舞台・映画など)	1.2	1.0	0.4	2.5
	展示会・コンベンションなどの参加費	0.1	0.2	0.2	0.5
	観光農園利用料	0.0	0.0	0.0	0.0
	遊漁船(釣り・ホエールウォッチングなど)	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の支出	ガイド料(自然体験・現地ツアー・スキー教室など)	0.0	0.0	0.0	0.0
	レンタル料(自転車・キャンプ用品・スキーなど)	0.0	0.0	0.0	0.0
	マッサージ	0.1	0.0	0.1	0.1
	写真撮影代	0.0	0.0	0.0	0.0
	郵便・電話通話料	0.0	0.0	0.0	0.0
	宅配便	0.1	0.0	0.0	0.1
	その他	2.1	0.0	0.3	2.3
	旅行会社収入	0.6	0.0	0.0	0.6
	合計	93.1	65.1	155.8	314.1

図表 3-5 産業連関表の産業部門と支出項目の対応

	項 目	産業部門
交通費	飛行機(北海道内路線、遊覧飛行)	46 その他の運輸・郵便
	鉄道(JR)	43 鉄道輸送
	地下鉄・市電	43 鉄道輸送
	リフト・ロープウェイ	43 鉄道輸送
	バス	44 道路輸送(除自家輸送)
	タクシー・ハイヤー	44 道路輸送(除自家輸送)
	船舶(遊覧船など)	46 その他の運輸・郵便
	レンタカー代	57 物品賃貸サービス
	ガソリン代	18 石油・石炭製品
	有料道路、駐車料金	46 その他の運輸・郵便
宿泊費	宿泊費(キャンプ場使用料含む)	61 宿泊業
飲食費	食事、喫茶、飲酒	62 飲食サービス
土産・買い物代	農産品(果物・野菜・花など)	01 耕種農業
	農畜産加工品(ハム・ソーセージ・乳製品・ジャムなど)	06 食肉・畜産食料品
	水産品(鮮魚・魚介類など)	04 漁業
	水産加工品(干物・練製品・魚卵など)	07 水産食料品
	菓子類	11 その他の食料品
	お弁当・飲料・酒・茶菓・タバコ・その他の食料品	11 その他の食料品
	繊維製品(衣料品、帽子、ハンカチなど)	14 繊維製品
	靴・カバン類	31 その他の製造工業製品
	陶磁器・ガラス製品	20 窯業・土石製品
	絵葉書・本・雑誌など	50 映像・音声・文字情報制作
	木製の小物・家具・装飾品・和紙など	15 ハルブ・紙・木製品
	医薬品・化粧品(ハミガキ・シャンプーなど)	17 化学製品
	フィルム(使い捨てカメラ含む)・ビデオテープ	17 化学製品
	電気製品・電池・メモリーカードなど	28 電気機械
	カメラ・ビデオカメラ・眼鏡・時計	29 情報・通信機器
	その他の製造品(文具・玩具など)	31 その他の製造工業製品
入場料・施設利用料	立ち寄り温泉・混浴施設・エステ	64 その他の対個人サービス
	テーマパーク・遊園地・博覧会など	63 娯楽サービス
	美術館・博物館・動物園・水族館・植物園など	52 教育・研究
	ゴルフ場・テニスコートなど	63 娯楽サービス
	スキー場リフト代	43 鉄道輸送
	スポーツ観戦・芸術鑑賞(コンサート・舞台・映画など)	63 娯楽サービス
	展示会・コンベンションなどの参加費	56 その他の非営利団体サービス
	観光農園利用料	02 畜産・農業サービス
	遊漁船(釣り・ホエールウォッチングなど)	64 その他の対個人サービス
	ガイド料(自然体験・現地ツアー・スキー教室など)	64 その他の対個人サービス
その他の支出	レンタル料(自転車・キャンプ用品・スキーなど)	57 物品賃貸サービス
	マッサージ	53 医療・保健衛生
	写真撮影代	64 その他の対個人サービス
	郵便・電話通話料	47 通信
	宅配便	44 道路輸送(除自家輸送)
	その他	64 その他の対個人サービス
	旅行会社収入	46 その他の運輸・郵便

(2) 購入者価格から生産者価格への変換

産業連関分析を行うにあたっては、購入者価格（支払ベース）で表示されている消費額を生産者価格に変換する必要がある。

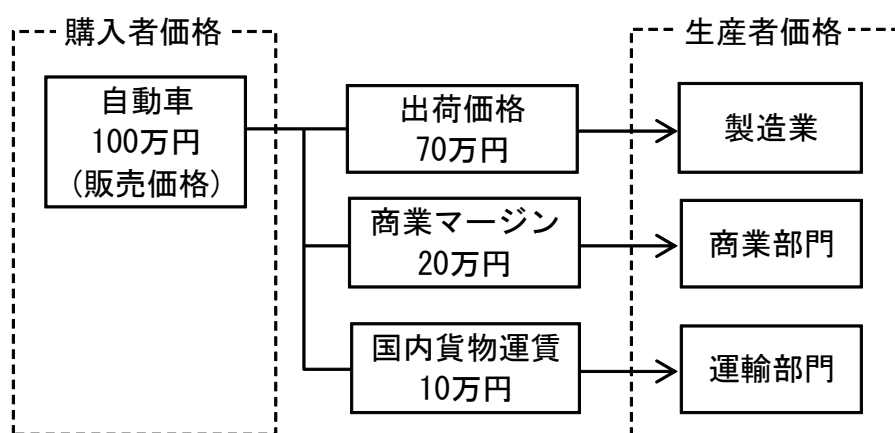
購入者価格は、出荷価格に商業マージンや国内貨物運賃等の流通経費が上乗せされたものである。産業連関表においては、商業マージンや国内貨物運賃等はそれぞれ商業部門及び運輸部門から一括して投入されるという取り扱いをしている。そのため、購入者価格のうち商業マージン及び国内貨物運賃を商業部門及び運輸部門に振り分けることにより、生産者価格に変換した。

○購入者価格＝出荷価格＋商業マージン＋国内貨物運賃

○購入者価格＝生産者価格

なお、本推計で用いる商業マージン率及び国内貨物運賃率は、総務省「平成 23 年全国産業連関表」の附帯表である産出表から、商業マージン、国内貨物運賃、生産者価格、購入者価格の「需要合計」を算出し、分析する 66 部門に統合して用いた。

各産業部門の商業マージンは「39 卸売」「40 小売」に、国内貨物運賃は「43 鉄道輸送」「44 道路輸送（除自家輸送）」「45 自家輸送」「46 その他の運輸・郵便」に配分している。



図表 3-6 購入者価格と生産者価格(自動車の例)

図表 3-7 産業部門別市内消費額(購入者価格、生産者価格)

(単位:百万円)

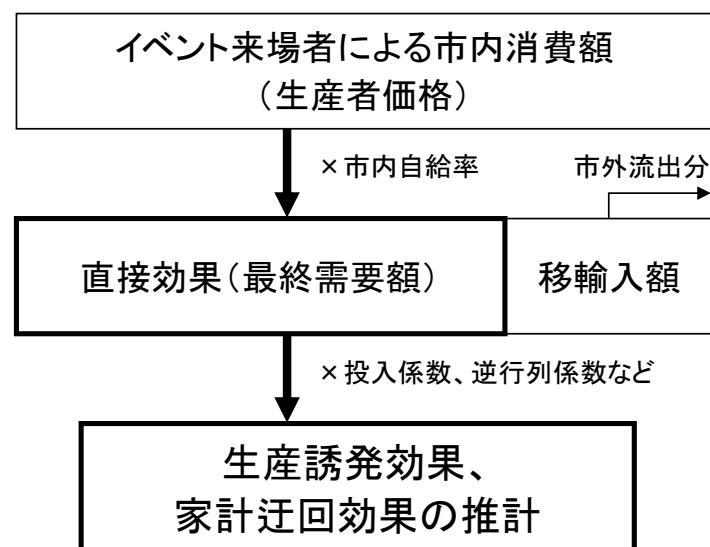
産業部門	購入者価格				生産者価格			
	札幌市民	その他道民	道外客	合計	札幌市民	その他道民	道外客	合計
01 耕種農業	0.6	0.9	0.4	1.9	0.3	0.4	0.2	0.9
02 畜産・農業サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
03 林業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
04 漁業	0.2	0.2	2.6	3.0	0.1	0.1	1.2	1.4
05 鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
06 食肉・畜産食料品	0.3	0.4	0.3	1.0	0.2	0.3	0.2	0.6
07 水産食料品	0.1	0.1	0.9	1.1	0.1	0.1	0.5	0.7
08 精穀・製粉	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
09 めん・パン・菓子類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10 農産保存食料品・砂糖・油脂	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11 その他の食料品	8.1	4.0	3.9	15.9	4.2	2.1	2.0	8.3
12 飲料	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13 飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14 繊維製品	2.2	5.7	1.3	9.2	0.9	2.2	0.5	3.6
15 パルプ・紙・木製品	0.2	0.4	0.1	0.6	0.1	0.1	0.0	0.2
16 印刷・製版・製本	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17 化学製品	0.1	0.3	0.1	0.5	0.1	0.1	0.0	0.2
18 石油・石炭製品	2.4	8.0	2.7	13.1	1.6	5.4	1.8	8.8
19 プラスチック・ゴム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 窯業・土石製品	0.1	0.2	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1
21 鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22 非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23 金属製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24 はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25 生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
26 業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27 電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28 電気機械	0.3	0.3	0.0	0.6	0.2	0.2	0.0	0.3
29 情報・通信機器	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2
30 輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
31 その他の製造工業製品	1.3	2.2	0.6	4.1	0.6	1.0	0.3	1.8
32 再生資源回収・加工処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
33 建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
34 建設補修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35 土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
36 電力	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37 ガス・熱供給	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
38 水道・廃棄物処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
39 卸売	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.8	1.8	6.4
40 小売	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	7.6	4.1	17.3
41 金融・保険	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
42 不動産	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
43 鉄道輸送	16.4	6.1	4.4	27.0	16.4	6.1	4.4	27.0
44 道路輸送(除自家輸送)	6.3	2.5	4.2	12.9	6.5	2.8	4.3	13.7
45 自家輸送	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
46 その他の運輸・郵便	4.2	3.6	12.5	20.3	4.2	3.7	12.6	20.6
47 通信	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
48 放送	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
49 情報・インターネット附随サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50 映像・音声・文字情報制作	0.2	0.4	0.1	0.7	0.1	0.2	0.0	0.4
51 公務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
52 教育・研究	0.1	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.3
53 医療・保健衛生	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
54 社会保険・社会福祉	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
55 介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
56 その他の非営利団体サービス	0.1	0.2	0.2	0.5	0.1	0.2	0.2	0.5
57 物品賃貸サービス	1.3	0.3	2.7	4.4	1.3	0.3	2.7	4.4
58 広告	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
59 自動車整備・機械修理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60 その他の対事業所サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
61 宿泊業	0.6	10.5	73.1	84.1	0.6	10.5	73.1	84.1
62 飲食サービス	43.8	17.4	44.0	105.2	43.8	17.4	44.0	105.2
63 娯楽サービス	1.7	1.1	1.0	3.8	1.7	1.1	1.0	3.8
64 その他の対個人サービス	2.5	0.1	0.5	3.1	2.5	0.1	0.5	3.1
65 事務用品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
66 分類不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	93.1	65.1	155.8	314.1	93.1	65.1	155.8	314.1

(3) 直接効果の推計

直接効果（最終需要額）とは、新規最終需要の発生により誘発される生産増加であり、イベント来場者による消費が市内産業の売上高に直接的に貢献する効果を示すものである。したがって、イベント来場者が市内で消費した金額（財・サービスへの支出）のうち、札幌市内で生産されていないものについては、直接効果から除く必要がある。

直接効果は市内総消費額（生産者価格）に市内自給率を乗じることにより推計する。

○直接効果（最終需要額）＝市内総消費額×市内自給率



図表 3-8 直接効果の推計フロー

イベント来場者による市内消費のような観光消費額を分析する際に注意しなければならないのが、自給率の取扱いである。

ここで、再び均衡産出高モデル（生産誘発効果）を示す。

$$X = [I - (I - M)A]^{-1}[(I - M)F + E] \cdots \cdots (7)$$

X : 均衡産出額ベクトル I : 単位行列 F : 域内最終需要ベクトル

M : 移輸入ベクトル E : 移輸出ベクトル A : 投入係数行列

いま、市民による観光消費を ΔF 、市外客による観光消費を ΔE とすると、

$$X = [I - (I - \tilde{M})A]^{-1}[(I - \tilde{M})\Delta F + \Delta E] \cdots \cdots (8)$$

(8)式の右辺のうち $[I - (I - \tilde{M})A]^{-1}$ は移輸入を考慮した開放型の逆行列係数表であり、残る $[(I - \tilde{M})F + E]$ は最終需要額（直接効果）である。ここで $(I - M)$ は域内自給率ベクトルであるが、逆行列係数表の中の $(I - \tilde{M})$ と、直接効果の中の $(I - \tilde{M})$ が異なることに留意する。

観光消費の特殊性から、消費額すべてが市内産業への直接的な消費であると考えられる場合には、直接効果を推計する際の自給率、すなわち(8)式における $(I - \tilde{M})$ を100%とみなすことができる。

例を挙げると、市外客が市内の飲食店で支払う飲食費は、食事や飲酒等の飲食サービスへの対価であり、そのサービスは確実に市内で提供されているため市内自給率は100%と考えることができる。飲食サービスを提供するため、飲食店が食料品や飲料などを市外から購入することはあるが、その際の自給率は中間投入を考慮する際に適用され、それが(8)式における $(I - \tilde{M})$ である。

本推計においては、次の産業部門について市内自給率を100%としている。

「43 鉄道輸送」「44 道路輸送（除自家輸送）」「46 その他の運輸・郵便」

「52 教育・研究」「53 医療・保健衛生」「54 社会保険・社会福祉」「61 宿泊業」

「62 飲食サービス」「63 娯楽サービス」「64 その他の対個人サービス」

3-2-2 経済波及効果の推計

(1) 生産波及効果

PMF2019 来場者の消費による新規需要額 3.1 億円により、原材料波及効果（一次効果）0.9 億円、家計迂回効果（二次効果）0.9 億円の生産が誘発される。その結果、生産波及効果の総額は 4.6 億円となり、市内総消費額に対する波及効果倍率は 1.57 倍となる。

産業別の内訳としては、サービス業が 2.4 億円（52.4%）、そのうち飲食業が 1.1 億円（24.1%）、宿泊業が 0.8 億円（18.1%）を占めており、次いで運輸・通信業が 0.9 億円（18.5%）、商業が 0.5 億円（11.5%）となっている。

また属性別の内訳は、生産波及効果 4.6 億円のうち、札幌市民 1.4 億円、札幌市以外の道民 0.9 億円、道外客 2.4 億円となっている。

図表 3-9 PMF2019 来場者の消費による生産波及効果

(単位:億円)

	新規需要額	生産波及効果			
		計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
来場者の消費による経済波及効果	3.1	4.6	2.9	0.9	0.9
生産波及倍率	—	1.63	—	—	—
波及効果倍率	—	1.57	—	—	—

※生産波及倍率＝(直接効果＋一次効果＋二次効果)÷直接効果

波及効果倍率＝(新規需要額＋一次効果＋二次効果)÷新規需要額

図表 3-10 PMF2019 来場者の消費による生産波及効果(11 部門)

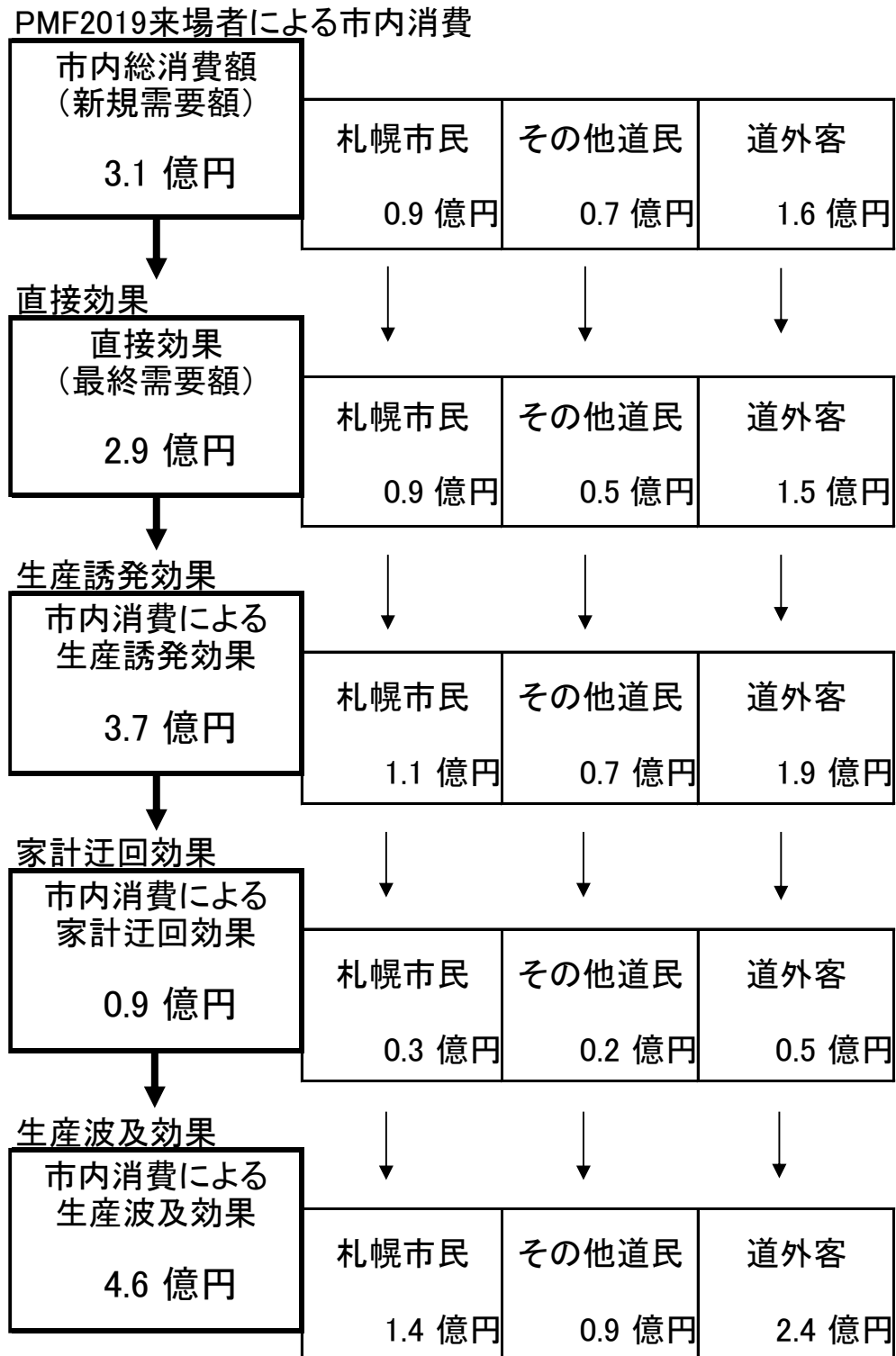
(単位:百万円、%)

No	産業部門	新規需要額	生産波及効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)	
01	農林水産業	2.3	0.6	0.0	0.5	0.1	0.1%
02	鉱業	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
03	製造業	25.0	18.2	4.5	10.4	3.3	3.9%
04	建設業	0.0	4.4	0.0	3.0	1.5	1.0%
05	電気・ガス・水道業	0.0	16.2	0.0	13.0	3.2	3.5%
06	商業	23.6	53.3	20.2	16.8	16.3	11.5%
07	金融・保険業	0.0	11.5	0.0	4.7	6.8	2.5%
08	不動産業	0.0	30.1	0.0	5.3	24.9	6.5%
09	運輸・通信業	61.7	85.7	61.6	15.0	9.1	18.5%
10	サービス業	201.4	243.1	199.1	18.5	25.5	52.4%
	（うち飲食業）	105.2	111.9	105.2	1.3	5.3	24.1%
	（うち宿泊業）	84.1	84.2	84.1	0.0	0.1	18.1%
11	公務	0.0	0.7	0.0	0.3	0.4	0.1%
合 計		314.1	464.0	285.4	87.6	91.0	100.0%

図表 3-11 PMF2019 来場者の消費による生産波及効果(66 部門)

(単位: 百万円、%)

No	産 業 部 門	新規需要額	生産波及効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	耕種農業	0.9	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
02	畜産・農業サービス	0.0	0.4	0.0	0.3	0.1	0.1%
03	林業	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
04	漁業	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
05	鉱業	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
06	食肉・畜産食料品	0.6	2.1	0.1	1.7	0.3	0.5%
07	水産食料品	0.7	0.5	0.1	0.3	0.1	0.1%
08	精穀・製粉	0.0	0.5	0.0	0.4	0.1	0.1%
09	めん・パン・菓子類	0.0	1.8	0.0	1.2	0.7	0.4%
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.0	0.6	0.0	0.5	0.1	0.1%
11	その他の食料品	8.3	7.1	4.1	2.3	0.8	1.5%
12	飲料	0.0	2.9	0.0	2.4	0.5	0.6%
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
14	繊維製品	3.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
15	パルプ・紙・木製品	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0%
16	印刷・製版・製本	0.0	1.1	0.0	0.7	0.4	0.2%
17	化学製品	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
18	石油・石炭製品	8.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
20	窯業・土石製品	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0%
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
23	金属製品	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1%
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
28	電気機械	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
29	情報・通信機器	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
31	その他の製造工業製品	1.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0%
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
34	建設補修	0.0	4.4	0.0	3.0	1.5	1.0%
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
36	電力	0.0	4.0	0.0	2.7	1.3	0.9%
37	ガス・熱供給	0.0	4.3	0.0	3.6	0.7	0.9%
38	水道・廃棄物処理	0.0	7.9	0.0	6.7	1.2	1.7%
39	卸売	6.4	20.3	4.3	10.5	5.5	4.4%
40	小売	17.3	33.0	15.9	6.4	10.8	7.1%
41	金融・保険	0.0	11.5	0.0	4.7	6.8	2.5%
42	不動産	0.0	30.1	0.0	5.3	24.9	6.5%
43	鉄道輸送	27.0	28.3	27.0	0.5	0.8	6.1%
44	道路輸送(除自家輸送)	13.7	16.7	13.7	1.7	1.2	3.6%
45	自家輸送	0.0	4.8	0.0	3.8	1.0	1.0%
46	その他の運輸・郵便	20.6	25.5	20.6	3.9	1.1	5.5%
47	通信	0.0	6.2	0.0	2.6	3.7	1.3%
48	放送	0.0	0.4	0.0	0.3	0.1	0.1%
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	1.7	0.0	1.2	0.6	0.4%
50	映像・音声・文字情報制作	0.4	2.0	0.3	1.1	0.6	0.4%
51	公務	0.0	0.7	0.0	0.3	0.4	0.1%
52	教育・研究	0.3	2.8	0.3	0.7	1.8	0.6%
53	医療・保健衛生	0.1	3.3	0.1	0.1	3.1	0.7%
54	社会保険・社会福祉	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	0.3%
55	介護	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.1%
56	その他の非営利団体サービス	0.5	2.7	0.5	0.6	1.7	0.6%
57	物品賃貸サービス	4.4	3.7	2.0	1.2	0.4	0.8%
58	広告	0.0	1.8	0.0	1.4	0.4	0.4%
59	自動車整備・機械修理	0.0	4.0	0.0	2.5	1.4	0.9%
60	その他の対事業所サービス	0.0	9.9	0.0	7.0	2.9	2.1%
61	宿泊業	84.1	84.2	84.1	0.0	0.1	18.1%
62	飲食サービス	105.2	111.9	105.2	1.3	5.3	24.1%
63	娯楽サービス	3.8	6.1	3.8	0.3	2.1	1.3%
64	その他の対個人サービス	3.1	8.4	3.1	1.4	4.0	1.8%
65	事務用品	0.0	0.7	0.0	0.6	0.1	0.2%
66	分類不明	0.0	1.9	0.0	1.4	0.5	0.4%
合 計		314.1	464.0	285.4	87.6	91.0	100.0%



図表 3-12 PMF2019 来場者の消費による生産波及効果フロー

(2) 所得形成効果（付加価値効果）

生産波及効果 3.1 億円によって市内産業が生み出す所得形成効果（付加価値効果）は 2.6 億円と推計され、直接効果 1.5 億円、原材料波及効果（一次効果）0.5 億円、家計迂回効果（二次効果）0.6 億円となった。このうち直接効果分 1.5 億円が GDP に相当する。

産業別の内訳としては、サービス業が 1.2 億円（46.0%）、そのうち飲食業が 0.5 億円（17.8%）、宿泊業が 0.5 億円（17.1%）を占めている。

また、属性別の内訳は、所得形成効果 2.6 億円のうち、札幌市民 0.8 億円、札幌市以外の道民 0.5 億円、道外客 1.3 億円となっている。

図表 3-13 PMF2019 来場者の消費による所得形成効果

（単位：億円）

	新規需要額	所得形成効果			
		計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
来場者の消費による経済波及効果	3.1	2.6	1.5	0.5	0.6

図表 3-14 PMF2019 来場者の消費による所得形成効果(11 部門)

（単位：百万円、%）

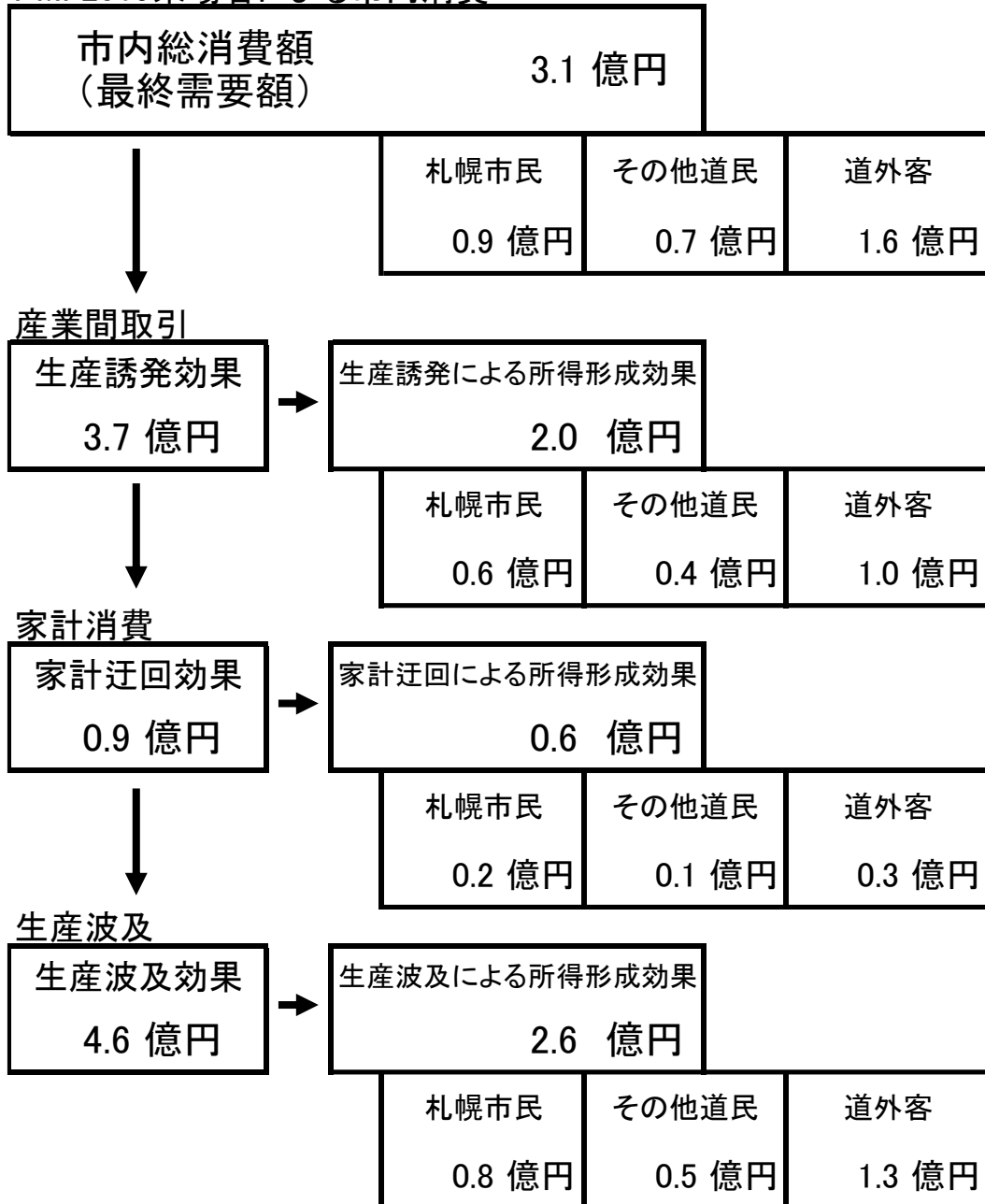
No	産 業 部 門	新規需要額	所得形成効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)	
01	農林水産業	2.3	0.4	0.0	0.3	0.1	0.1%
02	鉱業	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
03	製造業	25.0	6.8	1.4	4.1	1.3	2.6%
04	建設業	0.0	1.9	0.0	1.2	0.6	0.7%
05	電気・ガス・水道業	0.0	9.2	0.0	7.4	1.8	3.5%
06	商業	23.6	34.8	13.1	11.2	10.6	13.4%
07	金融・保険業	0.0	7.5	0.0	3.1	4.5	2.9%
08	不動産業	0.0	24.6	0.0	4.3	20.3	9.4%
09	運輸・通信業	61.7	55.2	43.1	7.0	5.0	21.2%
10	サービス業	201.4	119.9	94.6	10.5	14.7	46.0%
	（うち飲食業）	105.2	46.4	43.6	0.5	2.2	17.8%
	（うち宿泊業）	84.1	44.6	44.6	0.0	0.0	17.1%
11	公務	0.0	0.5	0.0	0.2	0.3	0.2%
合 計		314.1	260.8	152.2	49.5	59.1	100.0%

図表 3-15 PMF2019 来場者の消費による所得形成効果(66 部門)

(単位: 百万円、%)

No	産 業 部 門	新規需要額	所得形成効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	耕種農業	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
02	畜産・農業サービス	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1%
03	林業	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
04	漁業	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
05	鉱業	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
06	食肉・畜産食料品	0.6	0.4	0.0	0.3	0.1	0.2%
07	水産食料品	0.7	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
08	精穀・製粉	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
09	めん・パン・菓子類	0.0	0.7	0.0	0.5	0.3	0.3%
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1%
11	その他の食料品	8.3	2.2	1.3	0.7	0.2	0.9%
12	飲料	0.0	1.9	0.0	1.6	0.3	0.7%
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
14	繊維製品	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
15	パルプ・紙・木製品	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
16	印刷・製版・製本	0.0	0.5	0.0	0.3	0.2	0.2%
17	化学製品	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
18	石油・石炭製品	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
20	窯業・土石製品	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
23	金属製品	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0%
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
28	電気機械	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
29	情報・通信機器	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
31	その他の製造工業製品	1.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
34	建設補修	0.0	1.9	0.0	1.2	0.6	0.7%
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
36	電力	0.0	2.0	0.0	1.4	0.6	0.8%
37	ガス・熱供給	0.0	1.8	0.0	1.5	0.3	0.7%
38	水道・廃棄物処理	0.0	5.3	0.0	4.5	0.8	2.0%
39	卸売	6.4	13.8	2.9	7.1	3.7	5.3%
40	小売	17.3	21.0	10.1	4.1	6.9	8.1%
41	金融・保険	0.0	7.5	0.0	3.1	4.5	2.9%
42	不動産	0.0	24.6	0.0	4.3	20.3	9.4%
43	鉄道輸送	27.0	20.0	19.1	0.4	0.6	7.7%
44	道路輸送(除自家輸送)	13.7	12.6	10.4	1.3	0.9	4.8%
45	自家輸送	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
46	その他の運輸・郵便	20.6	16.8	13.5	2.6	0.7	6.4%
47	通信	0.0	3.6	0.0	1.5	2.1	1.4%
48	放送	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1%
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	1.1	0.0	0.7	0.4	0.4%
50	映像・音声・文字情報制作	0.4	0.9	0.1	0.5	0.3	0.4%
51	公務	0.0	0.5	0.0	0.2	0.3	0.2%
52	教育・研究	0.3	2.1	0.2	0.5	1.4	0.8%
53	医療・保健衛生	0.1	1.9	0.1	0.1	1.8	0.7%
54	社会保険・社会福祉	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	0.4%
55	介護	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1%
56	その他の非営利団体サービス	0.5	1.5	0.3	0.3	1.0	0.6%
57	物品賃貸サービス	4.4	2.4	1.3	0.8	0.3	0.9%
58	広告	0.0	0.5	0.0	0.4	0.1	0.2%
59	自動車整備・機械修理	0.0	1.4	0.0	0.9	0.5	0.5%
60	その他の対事業所サービス	0.0	7.5	0.0	5.3	2.2	2.9%
61	宿泊業	84.1	44.6	44.6	0.0	0.0	17.1%
62	飲食サービス	105.2	46.4	43.6	0.5	2.2	17.8%
63	娯楽サービス	3.8	4.1	2.5	0.2	1.4	1.6%
64	その他の対個人サービス	3.1	5.5	2.0	0.9	2.6	2.1%
65	事務用品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
66	分類不明	0.0	0.7	0.0	0.6	0.2	0.3%
合 計		314.1	260.8	152.2	49.5	59.1	100.0%

PMF2019来場者による市内消費



図表 3-16 PMF2019 来場者の消費による所得形成効果フロー

(3) 雇用効果（雇用者誘発数）

生産波及効果 4.6 億円による雇用効果（雇用者誘発数）は 47 人と推計された。

雇用効果の内訳は、直接効果 32 人、原材料波及効果（一次効果）8 人、家計迂回効果（二次効果）7 人となっている。

産業別の内訳としては、サービス業が 30 人（64.0%）、そのうち飲食業が 13 人（27.5%）、宿泊業が 10 人（21.8%）となっている。

図表 3-17 PMF2019 来場者の消費による雇用効果

	新規需要額 (億円)	雇用効果(人)			
		計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)
来場者の消費による経済波及効果	3.1	47	32	8	7

図表 3-18 PMF2019 来場者の消費による雇用効果(11 部門)

No	産 業 部 門	新規需要額 (百万円)	雇用効果(人)				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	農林水産業	2.3	0	0	0	0	0.3%
02	鉱業	0.0	0	0	0	0	0.0%
03	製造業	25.0	1	0	1	0	2.7%
04	建設業	0.0	1	0	0	0	1.2%
05	電気・ガス・水道業	0.0	0	0	0	0	1.1%
06	商業	23.6	7	3	2	2	14.8%
07	金融・保険業	0.0	1	0	0	0	1.2%
08	不動産業	0.0	0	0	0	0	1.1%
09	運輸・通信業	61.7	6	5	1	0	13.6%
10	サービス業	201.4	30	23	4	3	64.0%
	（うち飲食業）	105.2	13	12	0	1	27.5%
	（うち宿泊業）	84.1	10	10	0	0	21.8%
11	公務	0.0	0	0	0	0	0.1%
合 計		314.1	47	32	8	7	100.0%

図表 3-19 PMF2019 来場者の消費による雇用効果(66 部門)

No	産 業 部 門	新規需要額 (億円)	雇用効果(人)				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	耕種農業	0.9	0	0	0	0	0.2%
02	畜産・農業サービス	0.0	0	0	0	0	0.0%
03	林業	0.0	0	0	0	0	0.0%
04	漁業	1.4	0	0	0	0	0.0%
05	鉱業	0.0	0	0	0	0	0.0%
06	食肉・畜産食料品	0.6	0	0	0	0	0.2%
07	水産食料品	0.7	0	0	0	0	0.1%
08	精穀・製粉	0.0	0	0	0	0	0.0%
09	めん・パン・菓子類	0.0	0	0	0	0	0.2%
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.0	0	0	0	0	0.2%
11	その他の食料品	8.3	1	0	0	0	1.2%
12	飲料	0.0	0	0	0	0	0.1%
13	飼料・たばこ	0.0	0	0	0	0	0.0%
14	繊維製品	3.6	0	0	0	0	0.1%
15	パルプ・紙・木製品	0.2	0	0	0	0	0.1%
16	印刷・製版・製本	0.0	0	0	0	0	0.3%
17	化学製品	0.2	0	0	0	0	0.0%
18	石油・石炭製品	8.8	0	0	0	0	0.0%
19	プラスチック・ゴム	0.0	0	0	0	0	0.0%
20	窯業・土石製品	0.1	0	0	0	0	0.0%
21	鉄鋼	0.0	0	0	0	0	0.0%
22	非鉄金属	0.0	0	0	0	0	0.0%
23	金属製品	0.0	0	0	0	0	0.1%
24	はん用機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
25	生産用機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
26	業務用機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
27	電子部品	0.0	0	0	0	0	0.0%
28	電気機械	0.3	0	0	0	0	0.0%
29	情報・通信機器	0.2	0	0	0	0	0.0%
30	輸送機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
31	その他の製造工業製品	1.8	0	0	0	0	0.1%
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0	0	0	0	0.1%
33	建築	0.0	0	0	0	0	0.0%
34	建設補修	0.0	1	0	0	0	1.2%
35	土木	0.0	0	0	0	0	0.0%
36	電力	0.0	0	0	0	0	0.3%
37	ガス・熱供給	0.0	0	0	0	0	0.1%
38	水道・廃棄物処理	0.0	0	0	0	0	0.6%
39	卸売	6.4	1	0	1	0	2.3%
40	小売	17.3	6	3	1	2	12.5%
41	金融・保険	0.0	1	0	0	0	1.2%
42	不動産	0.0	0	0	0	0	1.1%
43	鉄道輸送	27.0	1	1	0	0	3.1%
44	道路輸送(除自家輸送)	13.7	2	2	0	0	5.1%
45	自家輸送	0.0	0	0	0	0	0.0%
46	その他の運輸・郵便	20.6	2	2	0	0	4.6%
47	通信	0.0	0	0	0	0	0.2%
48	放送	0.0	0	0	0	0	0.0%
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	0	0	0	0	0.3%
50	映像・音声・文字情報制作	0.4	0	0	0	0	0.2%
51	公務	0.0	0	0	0	0	0.1%
52	教育・研究	0.3	0	0	0	0	0.6%
53	医療・保健衛生	0.1	0	0	0	0	0.6%
54	社会保険・社会福祉	0.0	0	0	0	0	0.4%
55	介護	0.0	0	0	0	0	0.1%
56	その他の非営利団体サービス	0.5	0	0	0	0	0.6%
57	物品賃貸サービス	4.4	0	0	0	0	0.2%
58	広告	0.0	0	0	0	0	0.1%
59	自動車整備・機械修理	0.0	0	0	0	0	0.4%
60	その他の対事業所サービス	0.0	1	0	1	0	2.5%
61	宿泊業	84.1	10	10	0	0	21.8%
62	飲食サービス	105.2	13	12	0	1	27.5%
63	娯楽サービス	3.8	0	0	0	0	1.0%
64	その他の対個人サービス	3.1	1	0	0	0	2.1%
65	事務用品	0.0	0	0	0	0	0.0%
66	分類不明	0.0	3	0	2	1	6.0%
合 計		314.1	47	32	8	7	100.0%

(4) 税収効果（試算）

生産波及効果 4.6 億円による札幌市への税収効果は、直接税分（個人及び法人）13.5 百万円、間接税分 0.6 百万円の合計 14.1 百万円と推計された。

内訳は、直接効果 9.0 百万円、原材料波及効果（一次効果）2.5 百万円、家計迂回効果（二次効果）2.6 百万円となっている。

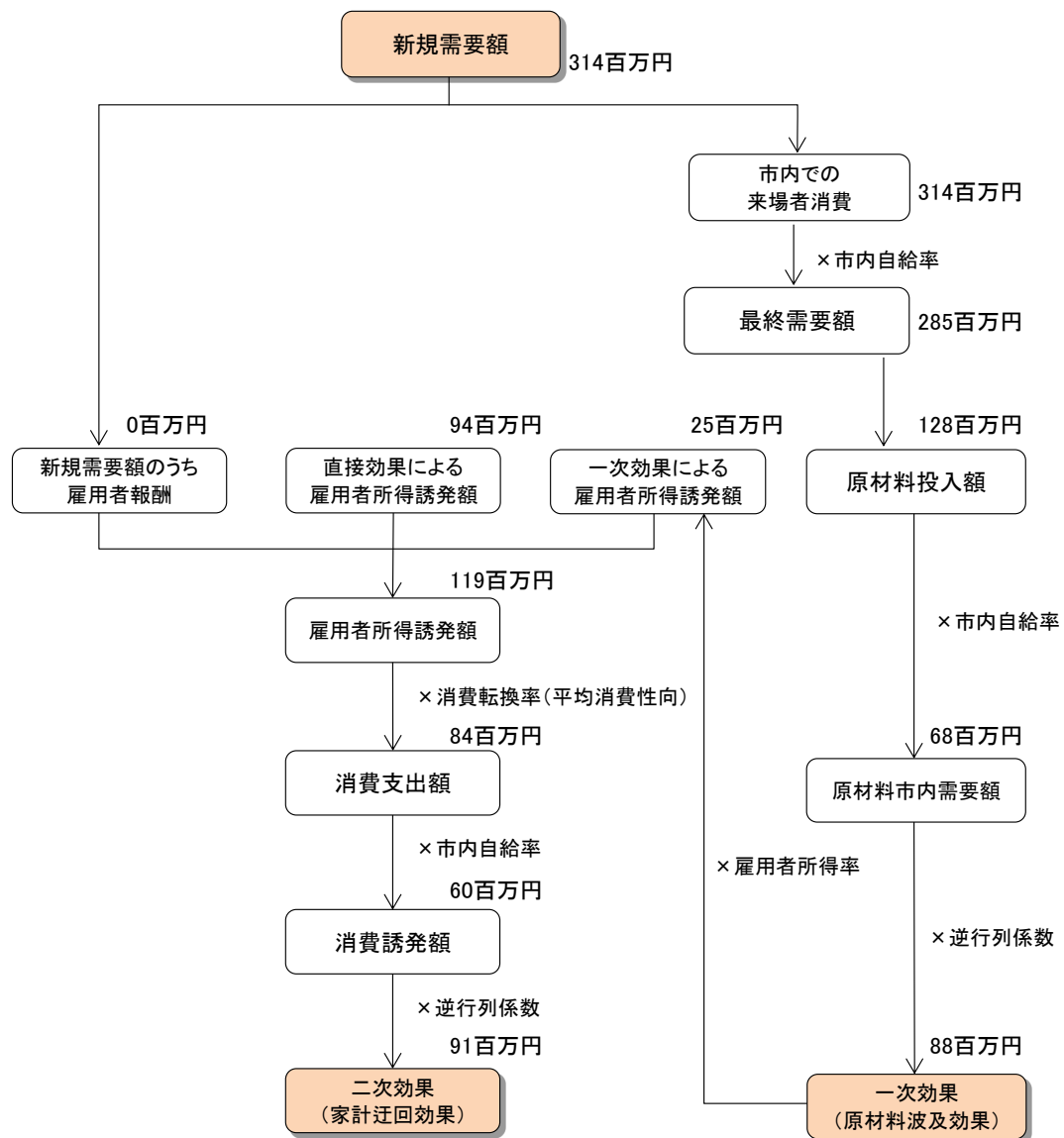
図表 3-20 PMF2019 来場者の消費による税収効果

（単位：百万円）

区 分		税収係数	計	税収効果		
				直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)
直接税	個人	0.059370	8.5	5.6	1.5	1.5
	法人	0.010766	5.0	3.1	0.9	1.0
間接税		0.002246	0.6	0.3	0.1	0.1
合 計		—	14.1	9.0	2.5	2.6

図表 3-21 PMF2019 来場者の消費による経済波及効果(総括表)

No	産 業 部 門	新規需要額	(単位:百万円)			(単位:百万円)			(単位:人)		
			生産波及効果			所得形成効果			雇用効果		
			直接効果	波及効果 (直接 +一次効果)	波及効果 (直接+一次 +二次効果)	直接効果	波及効果 (直接 +一次効果)	波及効果 (直接+一次 +二次効果)	直接効果	波及効果 (直接 +一次効果)	波及効果 (直接+一次 +二次効果)
01	耕種農業	0.9	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0	0	0
02	畜産・農業サービス	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.2	0.2	0	0	0
03	林業	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0	0	0
04	漁業	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
05	鉱業	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0	0	0
06	食肉・畜産食料品	0.6	0.1	1.8	2.1	0.0	0.4	0.4	0	0	0
07	水産食料品	0.7	0.1	0.4	0.5	0.0	0.1	0.1	0	0	0
08	精穀・製粉	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.1	0.1	0	0	0
09	めん・パン・菓子類	0.0	0.0	1.2	1.8	0.0	0.5	0.7	0	0	0
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0	0.2	0.3	0	0	0
11	その他の食料品	8.3	4.1	6.4	7.1	1.3	2.0	2.2	0	0	1
12	飲料	0.0	0.0	2.4	2.9	0.0	1.6	1.9	0	0	0
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
14	繊維製品	3.6	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
15	パルプ・紙・木製品	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0	0	0
16	印刷・製版・製本	0.0	0.0	0.7	1.1	0.0	0.3	0.5	0	0	0
17	化学製品	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
18	石油・石炭製品	8.8	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
20	窯業・土石製品	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0	0	0
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
23	金属製品	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0	0	0
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
28	電気機械	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
29	情報・通信機器	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
31	その他の製造工業製品	1.8	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0	0	0
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
34	建設補修	0.0	0.0	3.0	4.4	0.0	1.2	1.9	0	0	1
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
36	電力	0.0	0.0	2.7	4.0	0.0	1.4	2.0	0	0	0
37	ガス・熱供給	0.0	0.0	3.6	4.3	0.0	1.5	1.8	0	0	0
38	水道・廃棄物処理	0.0	0.0	6.7	7.9	0.0	4.5	5.3	0	0	0
39	卸売	6.4	4.3	14.8	20.3	2.9	10.0	13.8	0	1	1
40	小売	17.3	15.9	22.2	33.0	10.1	14.2	21.0	3	4	6
41	金融・保険	0.0	0.0	4.7	11.5	0.0	3.1	7.5	0	0	1
42	不動産	0.0	0.0	5.3	30.1	0.0	4.3	24.6	0	0	0
43	鉄道輸送	27.0	27.0	27.5	28.3	19.1	19.4	20.0	1	1	1
44	道路輸送(除自家輸送)	13.7	13.7	15.4	16.7	10.4	11.7	12.6	2	2	2
45	自家輸送	0.0	0.0	3.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0	0	0
46	その他の運輸・郵便	20.6	20.6	24.5	25.5	13.5	16.1	16.8	2	2	2
47	通信	0.0	0.0	2.6	6.2	0.0	1.5	3.6	0	0	0
48	放送	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.1	0.2	0	0	0
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	0.0	1.2	1.7	0.0	0.7	1.1	0	0	0
50	映像・音声・文字情報制作	0.4	0.3	1.4	2.0	0.1	0.6	0.9	0	0	0
51	公務	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.2	0.5	0	0	0
52	教育・研究	0.3	0.3	0.9	2.8	0.2	0.7	2.1	0	0	0
53	医療・保健衛生	0.1	0.1	0.2	3.3	0.1	0.1	1.9	0	0	0
54	社会保険・社会福祉	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.9	0	0	0
55	介護	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0	0	0
56	その他の非営利団体サービス	0.5	0.5	1.0	2.7	0.3	0.6	1.5	0	0	0
57	物品賃貸サービス	4.4	2.0	3.3	3.7	1.3	2.1	2.4	0	0	0
58	広告	0.0	0.0	1.4	1.8	0.0	0.4	0.5	0	0	0
59	自動車整備・機械修理	0.0	0.0	2.5	4.0	0.0	0.9	1.4	0	0	0
60	その他の対事業所サービス	0.0	0.0	7.0	9.9	0.0	5.3	7.5	0	1	1
61	宿泊業	84.1	84.1	84.1	84.2	44.6	44.6	44.6	10	10	10
62	飲食サービス	105.2	105.2	106.6	111.9	43.6	44.2	46.4	12	12	13
63	娯楽サービス	3.8	3.8	4.0	6.1	2.5	2.7	4.1	0	0	0
64	その他の対個人サービス	3.1	3.1	4.5	8.4	2.0	2.9	5.5	0	1	1
65	事務用品	0.0	0.0	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0	0	0
66	分類不明	0.0	0.0	1.4	1.9	0.0	0.6	0.7	0	2	3
合 計		314.1	285.4	373.0	464.0	152.2	201.7	260.8	32	40	47



図表 3-22 PMF2019 来場者の消費による経済波及効果(計算過程図)

3-3 PMF2019 の開催経費による経済波及効果の算出

イベントの開催経費から経済波及効果を推計する具体的な手順は以下のとおりである。

①産業部門別支出額の推計

イベント開催経費を該当する産業部門（66 部門）に割り当て、産業部門別消費額を推計する。

②産業部門別新規需要額の推計

購入者価格で表示されている産業部門別消費額のうち、商業マージン及び国内貨物運賃を商業部門及び運輸部門に振り分け、生産者価格へ変換することにより、産業部門別新規需要額を推計する。

③産業連関分析

生産者価格に変換した産業部門別新規需要額と平成 23 年札幌市産業連関表を用いて産業連関分析を行い、PMF2019 の開催経費が市内産業にもたらす生産波及効果、所得形成効果、雇用効果、税収効果等の経済波及効果を推計する。

3-3-1 産業部門別新規需要額の推計

(1) PMF2019 開催経費の整理

PMF 組織委員会において整理した開催経費を、科目ごとに該当する産業部門（66 部門）に割り当てた。PMF 組織委員会内の人件費やコンサート出演者への報酬は雇用者所得として取り扱う。なお、開催経費のうち札幌市外への支出額及び札幌市以外に居住する個人への報酬額は、産業連関分析上は「移出」となるため算入しない。

「交通費」など内訳が分からない科目については、平成 23 年札幌市産業連関表の民間消費支出の金額で按分して「43 鉄道輸送」（JR・地下鉄等）や「44 道路輸送」（バス、タクシー等）など各産業部門に割り当てた。また、租税公課など税金等支出に該当するものは控除対象としている。

その結果、PMF2019 開催経費は、札幌市内での開催経費支出 1.8 億円、札幌市民への雇用者報酬 1.1 億円の合計 2.9 億円となった。

(2) 購入者価格から生産者価格への変換

購入者価格のうち商業マージン及び国内貨物運賃を商業部門及び運輸部門に振り分けることにより、生産者価格に変換した。

図表 3-23 産業連関表の産業部門と PMF2019 開催経費の対応

科目		産業部門	備考
(1) 役員報酬		雇用者所得	人件費
(2) 給料手当		雇用者所得	人件費
(3) 退職掛金		雇用者所得	人件費
(4) 福利厚生費		雇用者所得	人件費
(5) 会議費	60	その他の対事業所サービス	会議室料
(6) 渉外費	62	飲食サービス	飲食代
(7) 旅費交通費支出		43、44、46で按分	市内交通機関から鉄道・道路・その他で按分
(8) アーティスト報酬		雇用者所得	人件費
(9) アーティスト旅費交通費		43、44、46で按分	市内交通機関から鉄道・道路・その他で按分
(10) アーティスト宿泊費	61	宿泊業	市内宿泊施設
(11) アーティスト食料費		6～12で按分	食料品製造業で按分
(12) アーティスト諸費	65	事務用品	
(13) アカデミー旅費交通費		43、44、46で按分	市内交通機関から鉄道・道路・その他で按分
(14) アカデミー宿泊費	61	宿泊業	市内宿泊施設
(15) アカデミー食料費		6～12で按分	食料品製造業で按分
(16) アカデミー諸費	65	事務用品	
(17) 楽器費	60	その他の対事業所サービス	楽器レンタル代
(18) 楽譜費	60	その他の対事業所サービス	楽譜レンタル代
(19) 資料費	50	映像・音声・文字情報制作	
(20) 著作権料	50	映像・音声・文字情報制作	
(21) 会場使用料	64	その他の対個人サービス	コンサートホール、公園施設使用料等
(22) 通信運搬費	47	通信	
(23) 消耗什器備品費	65	事務用品	
(24) 消耗品費	65	事務用品	
(25) 短期簡易設備費	60	その他の対事業所サービス	設備レンタル代(WiFi等)
(26) 光熱水費		36～38で按分	電気・ガス・水道で按分
(27) 賃借料	64	その他の対個人サービス	コンサートホール、公園施設使用料等
(28) 保険料	41	金融・保険	
(29) 諸謝金		雇用者所得	人件費
(30) 委託費	60	その他の対事業所サービス	
(31) 委託諸費	60	その他の対事業所サービス	
(32) 印刷製本費	16	印刷・製版・製本	パンフレット、プログラム
(33) 物品製作費	14	繊維製品	オフィシャルグッズ(PMFオリジナルTシャツ)
(34) 宣伝費	58	広告	
(35) 記録費	50	映像・音声・文字情報制作	
(36) 報酬賃金		雇用者所得	人件費
(37) 租税公課		控除	税金等支出のため支出額から控除
(38) 支払手数料	41	金融・保険	
(39) 支払負担金		雇用者所得	人件費
(40) 寄付金			
(41) 雑費	66	分類不明	
(42) 為替差損		控除	税金等支出のため支出額から控除
(42) 法人税、住民税及び事業税支出		控除	税金等支出のため支出額から控除

図表 3-24 産業部門別市内支出額(購入者価格、生産者価格)

(単位:百万円)

産業部門	購入者価格	生産者価格
01 耕種農業	0.0	0.0
02 畜産・農業サービス	0.0	0.0
03 林業	0.0	0.0
04 漁業	0.0	0.0
05 鉱業	0.0	0.0
06 食肉・畜産食料品	1.3	0.8
07 水産食料品	1.1	0.6
08 精穀・製粉	0.6	0.4
09 めん・パン・菓子類	1.7	1.0
10 農産保存食料品・砂糖・油脂	0.7	0.4
11 その他の食料品	1.5	0.8
12 飲料	1.7	1.0
13 飼料・たばこ	0.0	0.0
14 繊維製品	1.6	0.6
15 パルプ・紙・木製品	0.0	0.0
16 印刷・製版・製本	8.9	4.9
17 化学製品	0.0	0.0
18 石油・石炭製品	0.0	0.0
19 プラスチック・ゴム	0.0	0.0
20 窯業・土石製品	0.0	0.0
21 鉄鋼	0.0	0.0
22 非鉄金属	0.0	0.0
23 金属製品	0.0	0.0
24 はん用機械	0.0	0.0
25 生産用機械	0.0	0.0
26 業務用機械	0.0	0.0
27 電子部品	0.0	0.0
28 電気機械	0.0	0.0
29 情報・通信機器	0.0	0.0
30 輸送機械	0.0	0.0
31 その他の製造工業製品	0.0	0.0
32 再生資源回収・加工処理	0.0	0.0
33 建築	0.0	0.0
34 建設補修	0.0	0.0
35 土木	0.0	0.0
36 電力	0.3	0.3
37 ガス・熱供給	0.1	0.1
38 水道・廃棄物処理	0.1	0.1
39 卸売	0.0	1.7
40 小売	0.0	6.4
41 金融・保険	2.6	2.6
42 不動産	0.0	0.0
43 鉄道輸送	0.7	0.7
44 道路輸送(除自家輸送)	1.3	1.7
45 自家輸送	0.0	0.0
46 その他の運輸・郵便	1.0	1.1
47 通信	5.0	5.0
48 放送	0.0	0.0
49 情報・インターネット附随サービス	0.0	0.0
50 映像・音声・文字情報制作	0.2	0.1
51 公務	0.0	0.0
52 教育・研究	0.0	0.0
53 医療・保健衛生	0.0	0.0
54 社会保険・社会福祉	0.0	0.0
55 介護	0.0	0.0
56 その他の非営利団体サービス	0.0	0.0
57 物品賃貸サービス	0.0	0.0
58 広告	28.7	28.7
59 自動車整備・機械修理	0.0	0.0
60 その他の対事業所サービス	44.1	44.1
61 宿泊業	49.3	49.3
62 飲食サービス	0.3	0.3
63 娯楽サービス	0.0	0.0
64 その他の対個人サービス	21.5	21.5
65 事務用品	4.4	4.4
66 分類不明	0.8	0.8
合計	179.3	179.3

3-3-2 経済波及効果の推計

(1) 生産波及効果

PMF2019 の開催経費（新規需要額）2.9 億円により、原材料波及効果（一次効果）0.4 億円、家計迂回効果（二次効果）1.3 億円の生産が誘発される。その結果、生産波及効果の総額は 3.2 億円となり、市内総支出額に対する波及効果倍率は 1.61 倍となる。

産業別の内訳としては、サービス業が 1.7 億円（54.0%）となり、そのうち宿泊業が 0.5 億円（15.3%）を占める。次いで、不動産業 0.4 億円（11.9%）、商業 0.4 億円（11.1%）、運輸・通信業 0.3 億円（10.3%）の順となっている。

図表 3-25 PMF2019 開催経費による生産波及効果

(単位:億円)

	新規需要額	生産波及効果			
		計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
PMF開催経費による経済波及効果	2.9	3.2	1.5	0.4	1.3
生産波及倍率	—	2.19	—	—	—
波及効果倍率	—	1.61	—	—	—

※生産波及倍率＝(直接効果＋一次効果＋二次効果)÷直接効果

波及効果倍率＝(新規需要額＋一次効果＋二次効果)÷新規需要額

図表 3-26 PMF2019 開催経費による生産波及効果(11 部門)

(単位:百万円、%)

No	産業部門	新規需要額	生産波及効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)	
01	農林水産業	0.0	0.3	0.0	0.1	0.2	0.1%
02	鉱業	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
03	製造業	10.6	12.4	4.7	3.0	4.7	3.8%
04	建設業	0.0	3.2	0.0	1.1	2.1	1.0%
05	電気・ガス・水道業	0.4	10.2	0.3	5.3	4.6	3.1%
06	商業	8.1	35.9	7.0	5.5	23.4	11.1%
07	金融・保険業	2.6	14.0	2.4	1.8	9.8	4.3%
08	不動産業	0.0	38.3	0.0	2.7	35.7	11.9%
09	運輸・通信業	8.6	33.4	8.0	12.3	13.0	10.3%
10	サービス業	149.0	174.2	125.3	12.3	36.6	54.0%
	（うち飲食業）	0.3	8.3	0.3	0.4	7.6	2.6%
	（うち宿泊業）	49.3	49.4	49.3	0.0	0.1	15.3%
11	公務	0.0	0.8	0.0	0.3	0.5	0.3%
	雇用者所得	108.4					
	合 計	287.8	322.8	147.7	44.6	130.5	100.0%

図表 3-27 PMF2019 開催経費による生産波及効果(66 部門)

(単位: 百万円、%)

No	産 業 部 門	新規需要額	生産波及効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	耕種農業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
02	畜産・農業サービス	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1%
03	林業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
04	漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
05	鉱業	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
06	食肉・畜産食料品	0.8	0.9	0.2	0.2	0.5	0.3%
07	水産食料品	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1%
08	精穀・製粉	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1%
09	めん・パン・菓子類	1.0	1.5	0.4	0.1	1.0	0.5%
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.4	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1%
11	その他の食料品	0.8	1.9	0.4	0.4	1.1	0.6%
12	飲料	1.0	1.2	0.3	0.3	0.6	0.4%
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
14	繊維製品	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
15	パルプ・紙・木製品	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1%
16	印刷・製版・製本	4.9	4.9	3.3	1.1	0.5	1.5%
17	化学製品	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
18	石油・石炭製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0%
20	窯業・土石製品	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0%
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
23	金属製品	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1%
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
28	電気機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
29	情報・通信機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
31	その他の製造工業製品	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0%
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0%
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
34	建設補修	0.0	3.2	0.0	1.1	2.1	1.0%
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
36	電力	0.3	3.2	0.1	1.2	1.9	1.0%
37	ガス・熱供給	0.1	2.5	0.1	1.4	1.0	0.8%
38	水道・廃棄物処理	0.1	4.5	0.1	2.7	1.7	1.4%
39	卸売	1.7	12.6	1.1	3.6	7.9	3.9%
40	小売	6.4	23.3	5.9	1.9	15.5	7.2%
41	金融・保険	2.6	14.0	2.4	1.8	9.8	4.3%
42	不動産	0.0	38.3	0.0	2.7	35.7	11.9%
43	鉄道輸送	0.7	2.1	0.7	0.2	1.2	0.6%
44	道路輸送(除自家輸送)	1.7	4.2	1.7	0.7	1.7	1.3%
45	自家輸送	0.0	3.7	0.0	2.4	1.4	1.2%
46	その他の運輸・郵便	1.1	4.4	1.1	1.7	1.5	1.4%
47	通信	5.0	11.5	4.5	1.8	5.3	3.6%
48	放送	0.0	1.3	0.0	1.1	0.2	0.4%
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	1.9	0.0	1.0	0.8	0.6%
50	映像・音声・文字情報制作	0.1	4.3	0.1	3.3	0.9	1.3%
51	公務	0.0	0.8	0.0	0.3	0.5	0.3%
52	教育・研究	0.0	3.1	0.0	0.4	2.6	1.0%
53	医療・保健衛生	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	1.4%
54	社会保険・社会福祉	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.6%
55	介護	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.1%
56	その他の非営利団体サービス	0.0	2.7	0.0	0.3	2.4	0.8%
57	物品賃貸サービス	0.0	1.4	0.0	0.8	0.6	0.4%
58	広告	28.7	17.2	15.9	0.7	0.6	5.3%
59	自動車整備・機械修理	0.0	3.2	0.0	1.1	2.1	1.0%
60	その他の対事業所サービス	44.1	43.5	33.3	6.1	4.1	13.5%
61	宿泊業	49.3	49.4	49.3	0.0	0.1	15.3%
62	飲食サービス	0.3	8.3	0.3	0.4	7.6	2.6%
63	娯楽サービス	0.0	3.3	0.0	0.3	3.0	1.0%
64	その他の対個人サービス	21.5	28.1	21.5	1.0	5.7	8.7%
65	事務用品	4.4	4.9	4.4	0.4	0.2	1.5%
66	分類不明	0.8	2.1	0.7	0.8	0.6	0.6%
	雇用者所得	108.4					
	合 計	287.8	322.8	147.7	44.6	130.5	100.0%

(2) 所得形成効果（付加価値効果）

生産波及効果 3.2 億円によって市内産業が生み出す所得形成効果（付加価値効果）は 1.9 億円と推計され、直接効果 0.8 億円、原材料波及効果（一次効果）0.3 億円、家計迂回効果（二次効果）0.8 億円となった。このうち直接効果分 0.8 億円が GDP に相当する。

産業別の内訳としては、サービス業が 1.0 億円（51.0%）となり、そのうち宿泊業が 0.3 億円（13.5%）を占める。次いで、不動産業 0.3 億円（16.2%）、商業 0.2 億円（12.1%）が続いている。

図表 3-28 PMF2019 開催経費による所得形成効果

（単位：億円）

	新規需要額	所得形成効果			
		計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
PMF開催経費による経済波及効果	2.9	1.9	0.8	0.3	0.8

図表 3-29 PMF2019 開催経費による所得形成効果(11 部門)

（単位：百万円、%）

No	産業部門	新規需要額	所得形成効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)	
01	農林水産業	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1%
02	鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
03	製造業	10.6	5.1	2.1	1.2	1.8	2.6%
04	建設業	0.0	1.4	0.0	0.5	0.9	0.7%
05	電気・ガス・水道業	0.4	5.7	0.2	3.0	2.5	2.9%
06	商業	8.1	23.4	4.5	3.7	15.2	12.1%
07	金融・保険業	2.6	9.2	1.6	1.2	6.4	4.7%
08	不動産業	0.0	31.3	0.0	2.2	29.1	16.2%
09	運輸・通信業	8.6	17.9	5.1	5.5	7.2	9.3%
10	サービス業	149.0	98.7	70.0	7.5	21.2	51.0%
	（うち飲食業）	0.3	3.4	0.1	0.2	3.2	1.8%
	（うち宿泊業）	49.3	26.2	26.1	0.0	0.1	13.5%
11	公務	0.0	0.6	0.0	0.2	0.4	0.3%
	雇用者所得	108.4					
合 計		287.8	193.5	83.4	25.2	84.8	100.0%

図表 3-30 PMF2019 開催経費による所得形成効果(66 部門)

(単位: 百万円, %)

No	産 業 部 門	新規需要額	所得形成効果				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	耕種農業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
02	畜産・農業サービス	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1%
03	林業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
04	漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
05	鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
06	食肉・畜産食料品	0.8	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1%
07	水産食料品	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
08	精穀・製粉	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0%
09	めん・パン・菓子類	1.0	0.6	0.2	0.1	0.4	0.3%
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1%
11	その他の食料品	0.8	0.6	0.1	0.1	0.3	0.3%
12	飲料	1.0	0.8	0.2	0.2	0.4	0.4%
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
14	繊維製品	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
15	パルプ・紙・木製品	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1%
16	印刷・製版・製本	4.9	2.3	1.5	0.5	0.2	1.2%
17	化学製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
18	石油・石炭製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
20	窯業・土石製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
23	金属製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
28	電気機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
29	情報・通信機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
31	その他の製造工業製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
34	建設補修	0.0	1.4	0.0	0.5	0.9	0.7%
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
36	電力	0.3	1.6	0.1	0.6	0.9	0.8%
37	ガス・熱供給	0.1	1.0	0.0	0.6	0.4	0.5%
38	水道・廃棄物処理	0.1	3.1	0.1	1.9	1.1	1.6%
39	卸売	1.7	8.6	0.8	2.4	5.4	4.4%
40	小売	6.4	14.8	3.8	1.2	9.9	7.7%
41	金融・保険	2.6	9.2	1.6	1.2	6.4	4.7%
42	不動産	0.0	31.3	0.0	2.2	29.1	16.2%
43	鉄道輸送	0.7	1.5	0.5	0.2	0.8	0.8%
44	道路輸送(除自家輸送)	1.7	3.2	1.3	0.6	1.3	1.6%
45	自家輸送	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
46	その他の運輸・郵便	1.1	2.9	0.7	1.1	1.0	1.5%
47	通信	5.0	6.7	2.6	1.0	3.1	3.5%
48	放送	0.0	0.6	0.0	0.5	0.1	0.3%
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	1.1	0.0	0.6	0.5	0.6%
50	映像・音声・文字情報制作	0.1	1.9	0.0	1.5	0.4	1.0%
51	公務	0.0	0.6	0.0	0.2	0.4	0.3%
52	教育・研究	0.0	2.3	0.0	0.3	2.0	1.2%
53	医療・保健衛生	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	1.3%
54	社会保険・社会福祉	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.7%
55	介護	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.1%
56	その他の非営利団体サービス	0.0	1.6	0.0	0.2	1.4	0.8%
57	物品賃貸サービス	0.0	0.9	0.0	0.5	0.4	0.5%
58	広告	28.7	4.5	4.2	0.2	0.2	2.3%
59	自動車整備・機械修理	0.0	1.2	0.0	0.4	0.7	0.6%
60	その他の対事業所サービス	44.1	33.0	25.3	4.6	3.1	17.0%
61	宿泊業	49.3	26.2	26.1	0.0	0.1	13.5%
62	飲食サービス	0.3	3.4	0.1	0.2	3.2	1.8%
63	娯楽サービス	0.0	2.2	0.0	0.2	2.0	1.1%
64	その他の対個人サービス	21.5	18.4	14.1	0.6	3.7	9.5%
65	事務用品	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
66	分類不明	0.8	0.8	0.3	0.3	0.3	0.4%
	雇用者所得	108.4					
	合 計	287.8	193.5	83.4	25.2	84.8	100.0%

(3) 雇用効果（雇用者誘発数）

生産波及効果 3.2 億円による雇用効果（雇用者誘発数）は 31 人と推計された。

雇用効果の内訳は、直接効果 16 人、原材料波及効果（一次効果）4 人、家計迂回効果（二次効果）10 人となっている。

産業別の内訳としては、サービス業が最も多い 21 人（68.2%）となった。

図表 3-31 PMF2019 開催経費による雇用効果

	新規需要額 (億円)	雇用効果(人)			
		計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)
PMF開催経費による経済波及効果	2.9	31	16	4	10

図表 3-32 PMF2019 開催経費による雇用効果(11 部門)

No	産 業 部 門	新規需要額 (百万円)	雇用効果(人)				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	農林水産業	0.0	0	0	0	0	0.2%
02	鉱業	0.0	0	0	0	0	0.0%
03	製造業	10.6	1	0	0	0	3.6%
04	建設業	0.0	0	0	0	0	1.4%
05	電気・ガス・水道業	0.4	0	0	0	0	1.0%
06	商業	8.1	5	1	1	3	15.7%
07	金融・保険業	2.6	1	0	0	0	2.3%
08	不動産業	0.0	1	0	0	1	2.1%
09	運輸・通信業	8.6	2	0	1	1	5.4%
10	サービス業	149.0	21	14	2	5	68.2%
	（うち飲食業）	0.3	1	0	0	1	3.2%
	（うち宿泊業）	49.3	6	6	0	0	19.8%
11	公務	0.0	0	0	0	0	0.2%
	雇用者所得	108.4					
合 計		287.8	31	16	4	10	100.0%

図表 3-33 PMF2019 開催経費による雇用効果(66 部門)

No	産 業 部 門	新規需要額 (百万円)	雇用効果(人)				構成比
			計	直接効果	原材料波及 効果(一次)	家計迂回効果 (二次)	
01	耕種農業	0.0	0	0	0	0	0.2%
02	畜産・農業サービス	0.0	0	0	0	0	0.0%
03	林業	0.0	0	0	0	0	0.0%
04	漁業	0.0	0	0	0	0	0.0%
05	鉱業	0.0	0	0	0	0	0.0%
06	食肉・畜産食料品	0.8	0	0	0	0	0.1%
07	水産食料品	0.6	0	0	0	0	0.1%
08	精穀・製粉	0.4	0	0	0	0	0.0%
09	めん・パン・菓子類	1.0	0	0	0	0	0.3%
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.4	0	0	0	0	0.1%
11	その他の食料品	0.8	0	0	0	0	0.5%
12	飲料	1.0	0	0	0	0	0.1%
13	飼料・たばこ	0.0	0	0	0	0	0.0%
14	繊維製品	0.6	0	0	0	0	0.1%
15	パルプ・紙・木製品	0.0	0	0	0	0	0.1%
16	印刷・製版・製本	4.9	1	0	0	0	1.8%
17	化学製品	0.0	0	0	0	0	0.0%
18	石油・石炭製品	0.0	0	0	0	0	0.0%
19	プラスチック・ゴム	0.0	0	0	0	0	0.0%
20	窯業・土石製品	0.0	0	0	0	0	0.0%
21	鉄鋼	0.0	0	0	0	0	0.0%
22	非鉄金属	0.0	0	0	0	0	0.0%
23	金属製品	0.0	0	0	0	0	0.1%
24	はん用機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
25	生産用機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
26	業務用機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
27	電子部品	0.0	0	0	0	0	0.0%
28	電気機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
29	情報・通信機器	0.0	0	0	0	0	0.0%
30	輸送機械	0.0	0	0	0	0	0.0%
31	その他の製造工業製品	0.0	0	0	0	0	0.1%
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0	0	0	0	0.1%
33	建築	0.0	0	0	0	0	0.0%
34	建設補修	0.0	0	0	0	0	1.4%
35	土木	0.0	0	0	0	0	0.0%
36	電力	0.3	0	0	0	0	0.3%
37	ガス・熱供給	0.1	0	0	0	0	0.1%
38	水道・廃棄物処理	0.1	0	0	0	0	0.6%
39	卸売	1.7	1	0	0	0	2.2%
40	小売	6.4	4	1	0	3	13.5%
41	金融・保険	2.6	1	0	0	0	2.3%
42	不動産	0.0	1	0	0	1	2.1%
43	鉄道輸送	0.7	0	0	0	0	0.4%
44	道路輸送(除自家輸送)	1.7	1	0	0	0	2.0%
45	自家輸送	0.0	0	0	0	0	0.0%
46	その他の運輸・郵便	1.1	0	0	0	0	1.2%
47	通信	5.0	0	0	0	0	0.7%
48	放送	0.0	0	0	0	0	0.1%
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	0	0	0	0	0.5%
50	映像・音声・文字情報制作	0.1	0	0	0	0	0.6%
51	公務	0.0	0	0	0	0	0.2%
52	教育・研究	0.0	0	0	0	0	1.1%
53	医療・保健衛生	0.0	0	0	0	0	1.2%
54	社会保険・社会福祉	0.0	0	0	0	0	0.9%
55	介護	0.0	0	0	0	0	0.2%
56	その他の非営利団体サービス	0.0	0	0	0	0	0.9%
57	物品賃貸サービス	0.0	0	0	0	0	0.1%
58	広告	28.7	1	0	0	0	1.7%
59	自動車整備・機械修理	0.0	0	0	0	0	0.5%
60	その他の対事業所サービス	44.1	5	4	1	0	17.1%
61	宿泊業	49.3	6	6	0	0	19.8%
62	飲食サービス	0.3	1	0	0	1	3.2%
63	娯楽サービス	0.0	0	0	0	0	0.8%
64	その他の対個人サービス	21.5	3	2	0	1	10.5%
65	事務用品	4.4	0	0	0	0	0.0%
66	分類不明	0.8	3	1	1	1	10.2%
雇用者所得		108.4					
合 計		287.8	30.5	16.1	4.1	10.3	100.0%

(4) 税収効果（試算）

生産波及効果 3.2 億円による札幌市への税収効果は、直接税分（個人及び法人）9.2 百万円、間接税分 0.4 百万円の合計 9.7 百万円と推計された。

内訳は、直接効果 4.7 百万円、原材料波及効果（一次効果）1.3 百万円、家計迂回効果（二次効果）3.7 百万円となっている。

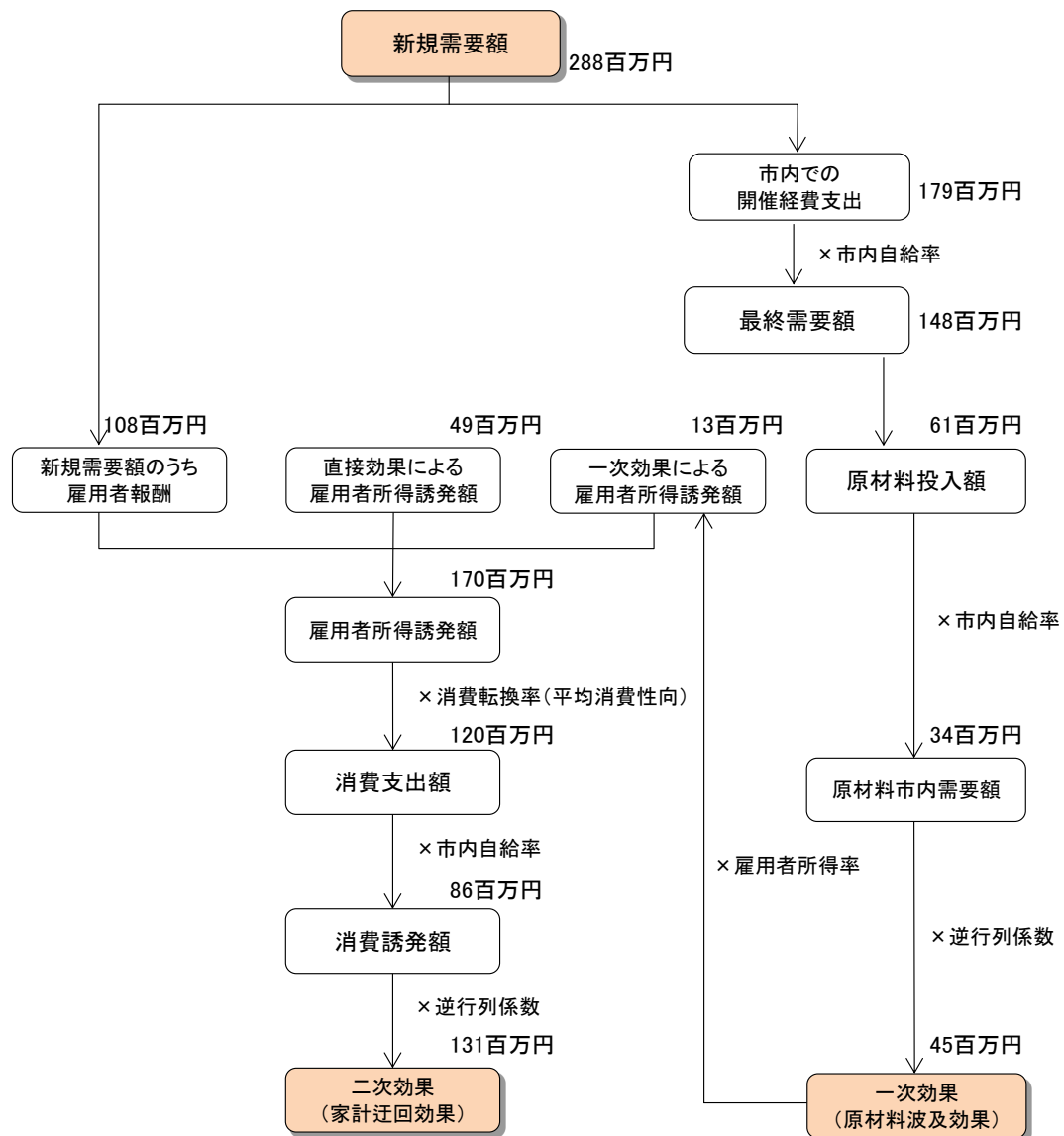
図表 3-34 PMF2019 開催経費による税収効果

（単位：百万円）

区 分		税収係数	計	税収効果		
				直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
直接税	個人	0.059370	5.8	2.9	0.8	2.1
	法人	0.010766	3.5	1.6	0.5	1.4
間接税		0.002246	0.4	0.2	0.06	0.2
合 計		—	9.7	4.7	1.3	3.7

図表 3-35 PMF2019 開催経費による経済波及効果(総括表)

No	産 業 部 門	新規需要額	(単位:百万円)			(単位:百万円)			(単位:人)		
			生産波及効果			所得形成効果			雇用効果		
			直接効果	波及効果 (直接 +一次効果)	波及効果 (直接+一次 +二次効果)	直接効果	波及効果 (直接 +一次効果)	波及効果 (直接+一次 +二次効果)	直接効果	波及効果 (直接 +一次効果)	波及効果 (直接+一次 +二次効果)
01	耕種農業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
02	畜産・農業サービス	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0	0	0
03	林業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
04	漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
05	鉱業	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
06	食肉・畜産食料品	0.8	0.2	0.4	0.9	0.0	0.1	0.2	0	0	0
07	水産食料品	0.6	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1	0	0	0
08	精穀・製粉	0.4	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1	0	0	0
09	めん・パン・菓子類	1.0	0.4	0.6	1.5	0.2	0.2	0.6	0	0	0
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.4	0.1	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0	0	0
11	その他の食料品	0.8	0.4	0.8	1.9	0.1	0.2	0.6	0	0	0
12	飲料	1.0	0.3	0.6	1.2	0.2	0.4	0.8	0	0	0
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
14	繊維製品	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
15	パルプ・紙・木製品	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0	0	0
16	印刷・製版・製本	4.9	3.3	4.4	4.9	1.5	2.0	2.3	0	1	1
17	化学製品	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
18	石油・石炭製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
20	窯業・土石製品	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
23	金属製品	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
28	電気機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
29	情報・通信機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
31	その他の製造工業製品	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
34	建設補修	0.0	0.0	1.1	3.2	0.0	0.5	1.4	0	0	0
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
36	電力	0.3	0.1	1.3	3.2	0.1	0.7	1.6	0	0	0
37	ガス・熱供給	0.1	0.1	1.4	2.5	0.0	0.6	1.0	0	0	0
38	水道・廃棄物処理	0.1	0.1	2.8	4.5	0.1	1.9	3.1	0	0	0
39	卸売	1.7	1.1	4.7	12.6	0.8	3.2	8.6	0	0	1
40	小売	6.4	5.9	7.8	23.3	3.8	5.0	14.8	1	1	4
41	金融・保険	2.6	2.4	4.2	14.0	1.6	2.8	9.2	0	0	1
42	不動産	0.0	0.0	2.7	38.3	0.0	2.2	31.3	0	0	1
43	鉄道輸送	0.7	0.7	0.9	2.1	0.5	0.6	1.5	0	0	0
44	道路輸送(除自家輸送)	1.7	1.7	2.4	4.2	1.3	1.8	3.2	0	0	1
45	自家輸送	0.0	0.0	2.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0	0	0
46	その他の運輸・郵便	1.1	1.1	2.8	4.4	0.7	1.9	2.9	0	0	0
47	通信	5.0	4.5	6.3	11.5	2.6	3.7	6.7	0	0	0
48	放送	0.0	0.0	1.1	1.3	0.0	0.5	0.6	0	0	0
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	0.0	1.0	1.9	0.0	0.6	1.1	0	0	0
50	映像・音声・文字情報制作	0.1	0.1	3.4	4.3	0.0	1.5	1.9	0	0	0
51	公務	0.0	0.0	0.3	0.8	0.0	0.2	0.6	0	0	0
52	教育・研究	0.0	0.0	0.4	3.1	0.0	0.3	2.3	0	0	0
53	医療・保健衛生	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	2.6	0	0	0
54	社会保険・社会福祉	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	1.3	0	0	0
55	介護	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.3	0	0	0
56	その他の非営利団体サービス	0.0	0.0	0.3	2.7	0.0	0.2	1.6	0	0	0
57	物品賃貸サービス	0.0	0.0	0.8	1.4	0.0	0.5	0.9	0	0	0
58	広告	28.7	15.9	16.6	17.2	4.2	4.3	4.5	0	1	1
59	自動車整備・機械修理	0.0	0.0	1.1	3.2	0.0	0.4	1.2	0	0	0
60	その他の対事業所サービス	44.1	33.3	39.4	43.5	25.3	29.9	33.0	4	5	5
61	宿泊業	49.3	49.3	49.3	49.4	26.1	26.1	26.2	6	6	6
62	飲食サービス	0.3	0.3	0.7	8.3	0.1	0.3	3.4	0	0	1
63	娯楽サービス	0.0	0.0	0.3	3.3	0.0	0.2	2.2	0	0	0
64	その他の対個人サービス	21.5	21.5	22.4	28.1	14.1	14.7	18.4	2	3	3
65	事務用品	4.4	4.4	4.7	4.9	0.0	0.0	0.0	0	0	0
66	分類不明	0.8	0.7	1.4	2.1	0.3	0.6	0.8	1	2	3
雇用者所得		108.4									
合 計		287.8	147.7	192.2	322.8	213.9	108.6	193.5	18	20	31



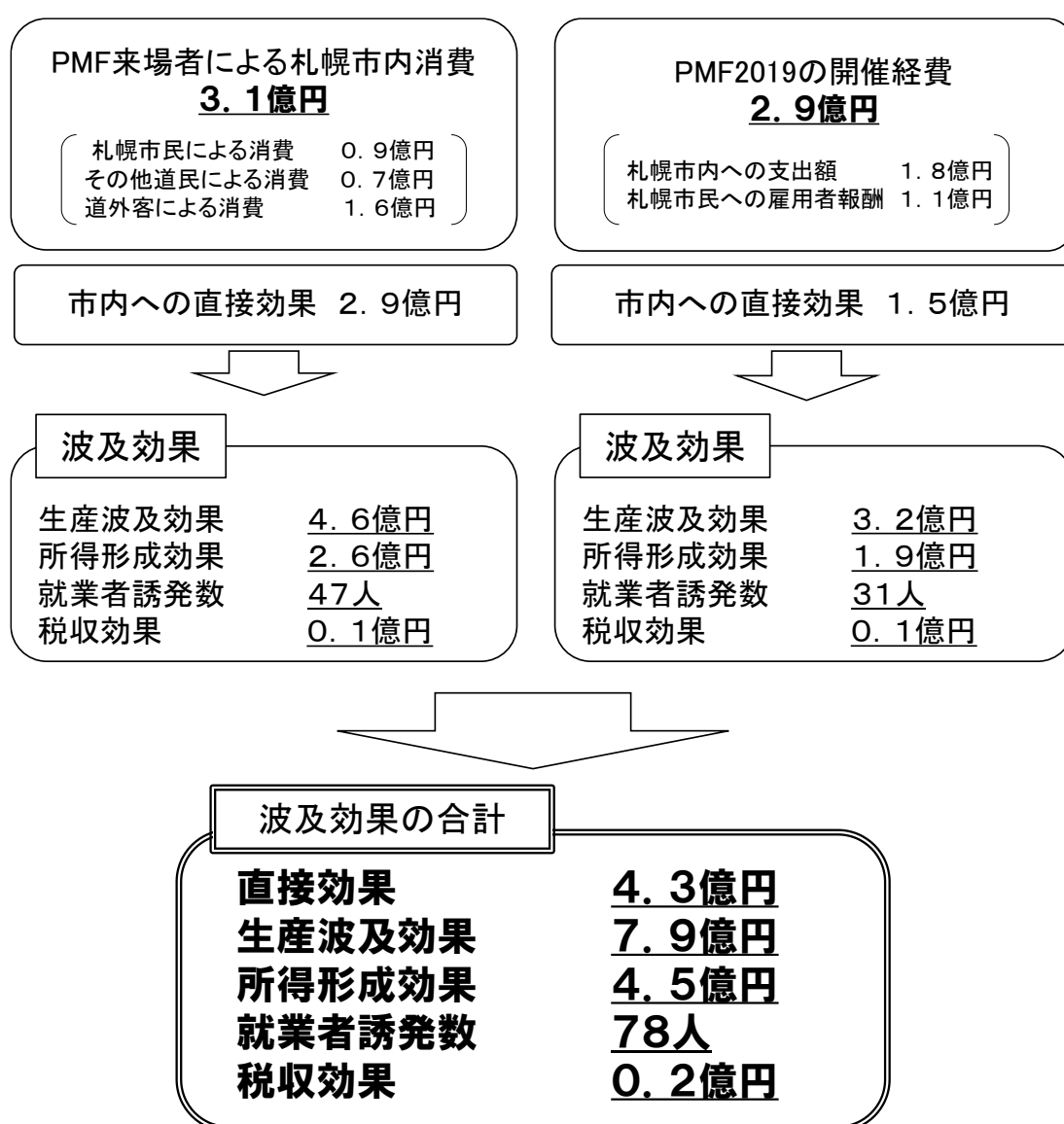
図表 3-36 PMF2019 開催経費による経済波及効果(計算過程図)

3-4 PMF2019 の実施による経済波及効果のまとめ

PMF2019 の開催により、来場者消費 3.1 億円、開催経費 2.9 億円の合計 6.0 億円が新規需要として生み出され、生産波及効果 7.9 億円、所得形成効果 4.5 億円が市内経済に波及した。新規需要額に対する波及効果倍率は 1.59 倍となった。

来場者消費による経済波及効果については、宿泊滞在を伴う市外客、とりわけ道外客の消費が全体を押し上げている。

また、開催経費による経済波及効果については、コンサート参加者の長期滞在や札幌市民への雇用者報酬の影響が大きいものと考えられる。



図表 3-37 PMF2019 の実施による経済波及効果(まとめ)

図表 3-38 PMF2019 の実施による経済波及効果(総額)

①PMF2019来場者の消費による経済波及効果

	計	経済波及効果		
		直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
新規需要額 (億円)	3.1	－	－	－
生産波及効果 (億円)	4.6	2.9	0.9	0.9
所得形成効果 (億円)	2.6	1.5	0.5	0.6
就業者誘発数 (人)	47	32	8	7
税収効果 (億円)	0.1	0.1	0.03	0.03
生産波及倍率 (倍)	1.63	－	－	－
波及効果倍率 (倍)	1.57	－	－	－

②PMF2019開催経費による経済波及効果

	計	経済波及効果		
		直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
新規需要額 (億円)	2.9	－	－	－
生産波及効果 (億円)	3.2	1.5	0.4	1.3
所得形成効果 (億円)	1.9	0.8	0.3	0.8
就業者誘発数 (人)	31	16	4	10
税収効果 (億円)	0.1	0.0	0.01	0.04
生産波及倍率 (倍)	2.19	－	－	－
波及効果倍率 (倍)	1.61	－	－	－

③合計(①+②)

	計	経済波及効果		
		直接効果	原材料波及効果(一次)	家計迂回効果(二次)
新規需要額 (億円)	6.0	－	－	－
生産波及効果 (億円)	7.9	4.3	1.3	2.2
所得形成効果 (億円)	4.5	2.4	0.7	1.4
就業者誘発数 (人)	78	48	12	18
税収効果 (億円)	0.2	0.1	0.04	0.06
生産波及倍率 (倍)	1.82	－	－	－
波及効果倍率 (倍)	1.59	－	－	－

※ 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

生産波及倍率＝(直接効果＋一次効果＋二次効果)÷直接効果

波及効果倍率＝(新規需要額＋一次効果＋二次効果)÷新規需要額

図表 3-39 PMF2019 の実施による経済波及効果(総額・総括表)

No	産 業 部 門	新規需要額	(単位:百万円)			(単位:百万円)			(単位:人)		
			生産波及効果			所得形成効果			雇用効果		
			直接効果	波及効果 (直接 + 一次効)	波及効果 (直接 + 一 次 + 二次効)	直接効果	波及効果 (直接 + 一次効)	波及効果 (直接 + 一 次 + 二次効)	直接効果	波及効果 (直接 + 一次効)	波及効果 (直接 + 一 次 + 二次効)
01	耕種農業	0.9	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0	0	0
02	畜産・農業サービス	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.2	0.3	0	0	0
03	林業	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0	0	0
04	漁業	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
05	鉱業	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0	0	0
06	食肉・畜産食料品	1.4	0.3	2.2	3.0	0.1	0.4	0.6	0	0	0
07	水産食料品	1.3	0.1	0.5	0.7	0.0	0.1	0.2	0	0	0
08	精穀・製粉	0.4	0.1	0.5	0.7	0.0	0.1	0.2	0	0	0
09	めん・パン・菓子類	1.0	0.4	1.7	3.4	0.2	0.7	1.4	0	0	0
10	農産保存食料品・砂糖・油脂	0.4	0.1	0.7	1.0	0.0	0.3	0.4	0	0	0
11	その他の食料品	9.1	4.5	7.2	9.0	1.4	2.2	2.8	0	1	1
12	飲料	1.0	0.3	3.0	4.1	0.2	1.9	2.7	0	0	0
13	飼料・たばこ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
14	繊維製品	4.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
15	パルプ・紙・木製品	0.2	0.0	0.4	0.5	0.0	0.1	0.2	0	0	0
16	印刷・製版・製本	4.9	3.3	5.1	6.0	1.5	2.4	2.8	0	1	1
17	化学製品	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
18	石油・石炭製品	8.8	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
19	プラスチック・ゴム	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0	0	0
20	窯業・土石製品	0.1	0.0	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0	0	0
21	鉄鋼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
22	非鉄金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
23	金属製品	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.1	0.1	0	0	0
24	はん用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
25	生産用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
26	業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
27	電子部品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
28	電気機械	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
29	情報・通信機器	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
30	輸送機械	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0
31	その他の製造工業製品	1.8	0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0	0	0
32	再生資源回収・加工処理	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0	0	0
33	建築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
34	建設補修	0.0	0.0	4.1	7.7	0.0	1.7	3.2	0	1	1
35	土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
36	電力	0.3	0.1	4.1	7.2	0.1	2.0	3.6	0	0	0
37	ガス・熱供給	0.1	0.1	5.1	6.8	0.0	2.1	2.9	0	0	0
38	水道・廃棄物処理	0.1	0.1	9.5	12.4	0.1	6.5	8.4	0	0	0
39	卸売	8.0	5.5	19.5	32.9	3.7	13.3	22.3	0	1	2
40	小売	23.7	21.8	30.0	56.3	13.9	19.2	35.9	4	5	10
41	金融・保険	2.6	2.4	8.9	25.4	1.6	5.8	16.7	0	0	1
42	不動産	0.0	0.0	7.9	68.4	0.0	6.5	55.9	0	0	1
43	鉄道輸送	27.7	27.7	28.4	30.4	19.6	20.1	21.5	1	1	2
44	道路輸送(除自家輸送)	15.4	15.4	17.9	20.9	11.7	13.6	15.8	2	3	3
45	自家輸送	0.0	0.0	6.2	8.5	0.0	0.0	0.0	0	0	0
46	その他の運輸・郵便	21.7	21.7	27.3	29.9	14.3	18.0	19.7	2	2	3
47	通信	5.0	4.5	8.8	17.8	2.6	5.1	10.4	0	0	0
48	放送	0.0	0.0	1.4	1.7	0.0	0.6	0.8	0	0	0
49	情報・インターネット附随サービス	0.0	0.0	2.2	3.6	0.0	1.4	2.2	0	0	0
50	映像・音声・文字情報制作	0.5	0.3	4.8	6.4	0.2	2.2	2.9	0	0	0
51	公務	0.0	0.0	0.6	1.5	0.0	0.5	1.2	0	0	0
52	教育・研究	0.3	0.3	1.4	5.8	0.2	1.0	4.4	0	0	1
53	医療・保健衛生	0.1	0.1	0.2	7.8	0.1	0.1	4.5	0	0	1
54	社会保険・社会福祉	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	2.2	0	0	0
55	介護	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.5	0	0	0
56	その他の非営利団体サービス	0.5	0.5	1.4	5.4	0.3	0.8	3.1	0	0	1
57	物品賃貸サービス	4.4	2.0	4.0	5.0	1.3	2.6	3.3	0	0	0
58	広告	28.7	15.9	18.0	19.1	4.2	4.7	5.0	0	1	1
59	自動車整備・機械修理	0.0	0.0	3.6	7.2	0.0	1.3	2.6	0	0	0
60	その他の対事業所サービス	44.1	33.3	46.4	53.4	25.3	35.2	40.5	4	6	6
61	宿泊業	133.4	133.4	133.4	133.6	70.7	70.7	70.8	16	16	16
62	飲食サービス	105.5	105.5	107.3	120.2	43.7	44.5	49.8	12	12	14
63	娯楽サービス	3.8	3.8	4.4	9.5	2.5	2.9	6.3	0	0	1
64	その他の対個人サービス	24.6	24.6	26.9	36.6	16.1	17.6	23.9	3	3	4
65	事務用品	4.4	4.4	5.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0	0	0
66	分類不明	0.8	0.7	2.8	3.9	0.3	1.1	1.6	1	4	6
雇用者所得		108.4									
合 計		601.8	433.1	565.2	786.7	366.1	310.3	454.3	50	60	78

第4章 外国人ニーズ調査

4-1 調査の概要

令和元年7月6日（土）から8月2日（金）の期間で開催された「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）2019」のうち、以下の公演を対象に、外国人を対象としたアンケート調査（うち7月25日は対面インタビュー調査）を実施した。

なお、本調査では、回収率の向上を目的として、Web アンケートフォームを作成し、Web やスマートフォンでも回答できるようにした。

図表 4-1 外国人ニーズ調査の実施公演

調査日	公演名	開催場所
7月17日（水）	エッシェンバッハ&カラパノス デュオリサイタル	札幌コンサートホール Kitara
7月18日（木）	オーロラプラザコンサート	さっぽろ地下街 オーロラタウン・オーロラプラザ
7月21日（日）	PMF プレミアムコンサート	札幌コンサートホール Kitara
7月23日（火）	オーロラプラザコンサート	さっぽろ地下街 オーロラタウン・オーロラプラザ
7月25日（木）	アカプラコンサート	北3条広場（アカプラ）
7月27日（土）	PMF hitaru スペシャルコンサート	札幌文化芸術劇場 hiraru
7月31日（水）	PMF スペシャルコンサート	札幌コンサートホール Kitara

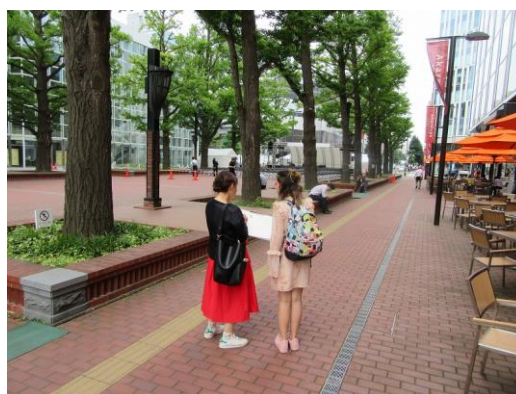
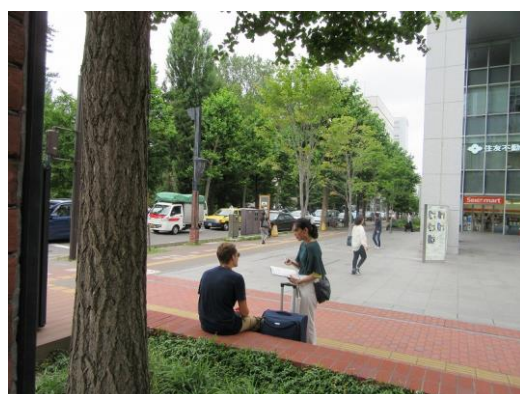
図表 4-2 来場者アンケート調査の概要

項 目	内 容
①調査日程	PMF2019 開催期間のうち7日間 令和元年7月17日（水）、18日（木）、21日（日）、23日（火）、25日（木）、28日（日）、31日（水）の7日間
②調査場所	札幌コンサートホール Kitara、さっぽろ地下街 オーロラタウン・オーロラプラザ、北3条広場（アカプラ）、札幌文化芸術劇場 hiraru
③調査方法	◆アンケート調査 来場者のうち外国人客に対して入場時に配布し、閉演後に回収 ◆インタビュー調査 調査員がインタビュー形式にて聞き取り ※Web やスマートフォンでも回答できるよう QR コードを調査票に添付
④調査項目	1. 回答者属性（性別、年代、居住地） 2. コンサート鑑賞の経験 3. PMF の感想・満足度、今後の来場者増加に向けた意見

図表 4-3 回収サンプル数

調査種別	回収数
アンケート回収	18
Web 回収	4
インタビュー調査(7/25)	47
合計	70

◆アカプラコンサートにおけるインタビュー調査状況



4-2 調査票



Pacific Music Festival 2019

30回目の
「ありがとう」

PMF 2019 Questionnaire for Visitors

Thank you for attending the PMF 2019 concert today. The PMF Organizing Committee is requesting overseas visitors who have attended the PMF concert to fill out a questionnaire to help us make PMF more accessible to overseas visitors.

Your answers will be statistically processed, and no individual answers will be made public.

If you are in a hurry, you can also fill it out online (Please access from QR code).

Thank you for your time, understanding and cooperation.



Q1. Your gender (choose the applicable answer)

1. Male 2. Female 3. Withhold

Q2. Your age (choose the applicable answer)

1. Elementary/junior high school student 2. High school student – 19 yr. old 3. 20 – 29 yr. old
4. 30 – 39 yr. old 5. 40 – 49 yr. old 6. 50 – 59 yr. old 7. 60 – 69 yr. old 8. 70 yr. or older

Q3. Your nationality (indicate the country on your passport)

Country:

Q4. Your place of residence (choose the applicable answer)

1. Same country as in the answer to Q3 2. Japan (outside Hokkaido)
3. Japan (other municipality in Hokkaido than Sapporo) 4. Sapporo

Q5. How many times have you been to Sapporo? (choose the applicable answer)

1. First time 2. Second time 3. Three times or more 4. Live in Sapporo

Q6. How many times have you attended PMF activities? (choose the applicable answer)

1. First time 2. Second time 3. Three times or more

Q7. With whom are you attending PMF today? (choose the applicable answer)

1. Alone 2. Friend(s)/Acquaintance(s) 3. Family 4. Work colleague(s) 5. Group tour member(s)

Q8. How did you learn about PMF? (choose all applicable answers)

1. TV program 2. Radio program 3. Newspaper 4. Magazine 5. Poster 6. PMF website
7. Social media or website articles 8. Pamphlet 9. Street advertisement 10. Advertisement in a subway station

Q9. Do you attend concerts regularly?

1. Often 2. Sometimes 3. Rarely 4. Not at all

Q10. Have you attended other plays or concerts than PMF during an overseas trip? (choose the applicable answer)

1. Yes 2. No



Pacific Music Festival 2019

30回目の
「ありがとう」

Q11. What do you consider important when travelling overseas? (Choose the applicable answer for each item)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1) History | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 2) Food | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 3) Traditional culture | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 4) Art | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 5) Leisure experience | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 6) Scenic spots | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 7) Nature | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 8) Shopping | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |
| 9) Interaction with local people | (Very important, Important, Average, Not very important, Not important at all) |

Q12. Please indicate your satisfaction with PMF (choose the applicable answer for each item)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1) Performance | (Very satisfied, Satisfied, Average, Somewhat dissatisfied, Very dissatisfied) |
| 2) Venue | (Very satisfied, Satisfied, Average, Somewhat dissatisfied, Very dissatisfied) |
| 3) Access | (Very satisfied, Satisfied, Average, Somewhat dissatisfied, Very dissatisfied) |
| 4) Local language support service | (Very satisfied, Satisfied, Average, Somewhat dissatisfied, Very dissatisfied) |
| 5) Purchase of tickets | (Very satisfied, Satisfied, Average, Somewhat dissatisfied, Very dissatisfied) |
| 6) Availability of information | (Very satisfied, Satisfied, Average, Somewhat dissatisfied, Very dissatisfied) |

Q13. What is necessary to increase the number of overseas visitors to PMF? (chosed all applicable answers)

- | |
|---|
| 1. Public relations, promotion |
| 2. Use of social media |
| 3. Improved language support services for the website, pamphlets and information counters |
| 4 Easy overseas ticket purchase |
| 5. Incentives to overseas visitors (e.g., ticket discounts) |
| 6. Special present or other goods |

Thank you for your cooperation!!

(日本語版)



Pacific Music Festival 2019

30回目の
「ありがとう」

PMF 2019 来場者アンケート調査

本日は、PMF 2019のコンサートにご来場いただき誠にありがとうございます。
公益財団法人PMF組織委員会では、PMFの海外客の来場を促進するため、海外からの来場者の皆様にアンケート調査をお願いしております。

ご回答内容は統計的に処理されますので、個別の回答が公表されることはありません。

なお、お時間のない方はWEB上でもご回答頂けます。

大変お手数ですが、皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

Q1 あなたの性別は（あてはまるもの1つ）

1. 男性 2. 女性 3. 回答保留

Q2 あなたの年齢は（あてはまるもの1つ）

1. 小・中学生 2. 高校生～19歳 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳以上

Q3 あなたの国籍は（国名をお書きください）

国名：

Q4 あなたのお住まいは（あてはまるもの1つ）

1. Q3に回答した国 2. 日本（北海道以外） 3. 日本（北海道の札幌市以外）
4. 札幌市

Q5 札幌市に来たのは何回目ですか（あてはまるもの1つ）

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回以上 4. 住んでいる

Q6 PMFに来たのは何回目ですか（あてはまるもの1つ）

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回以上

Q7 本日の演奏会はどなたと一緒ですか（あてはまるもの1つ）

1. 一人 2. 友人・知人 3. 家族 4. 職場の同僚 5. 団体ツアー客

Q8 PMFを知った理由はなんですか（あてはまるものすべて）

1. テレビ番組 2. ラジオ 3. 新聞 4. 雑誌 5. ポスター 6. PMFウェブサイト
7. SNSやWeb記事 8. パンフレット 9. 街頭広告 10. 地下鉄構内広告

Q9 あなたは普段からコンサートを鑑賞しますか

1. よく鑑賞する 2. たまにする 3. ほとんどしない 4. 全くしない

Q10 あなたは今回のPMF以外に、海外の旅行先で演劇・音楽などを鑑賞したことがありますか（あてはまるもの1つ）

1. ある 2. ない



Pacific Music Festival 2019

30回目の
「ありがとう」

Q11 あなたが海外旅行する際に関心があること・重視することはなんですか（それぞれあてはまるものの1つ）

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| ①歴史 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ②食 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ③伝統文化 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ④芸術 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ⑤レジャー体験 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ⑥景勝地 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ⑦自然 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ⑧買い物 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |
| ⑨地域との交流 | （とても重視・まあ重視・ふつう・あまり重視しない・全く重視しない） |

Q12 今回のPMF来場の満足度を教えてください（それぞれあてはまるものの1つ）

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| ①演奏 | （とても満足・まあ満足・ふつう・やや不満・とても不満） |
| ②会場 | （とても満足・まあ満足・ふつう・やや不満・とても不満） |
| ③アクセス | （とても満足・まあ満足・ふつう・やや不満・とても不満） |
| ④外国語の現地対応 | （とても満足・まあ満足・ふつう・やや不満・とても不満） |
| ⑤チケットの購入 | （とても満足・まあ満足・ふつう・やや不満・とても不満） |
| ⑥情報の入手 | （とても満足・まあ満足・ふつう・やや不満・とても不満） |

Q13 PMFがさらに海外客の来場を増やしていくために必要なことは何だと思いますか（あてはまるものすべて）

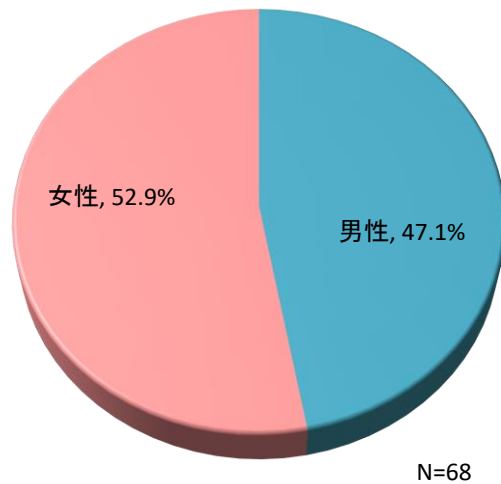
- | |
|------------------------------------|
| 1. 広報、プロモーション |
| 2. SNSなどの利用 |
| 3. Web、パンフレット、お問い合わせ窓口などでの外国語対応の充実 |
| 4. 海外からでもわかりやすいチケット購入方法 |
| 5. 海外客の優遇（チケット割引など） |
| 6. グッズの充実 |

調査内容は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

4-3 アンケート調査結果

(1) 性別

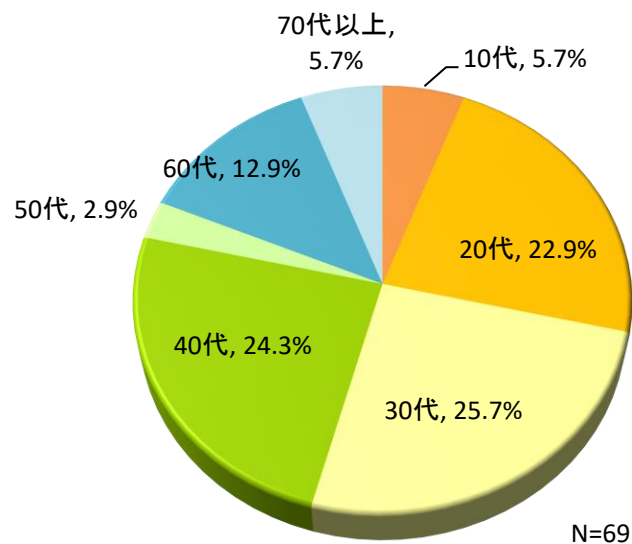
外国人客の性別は、「男性」47.1%、「女性」52.9%と、女性の割合が若干高くなった。



図表 4-4 外国人客の性別

(2) 年代

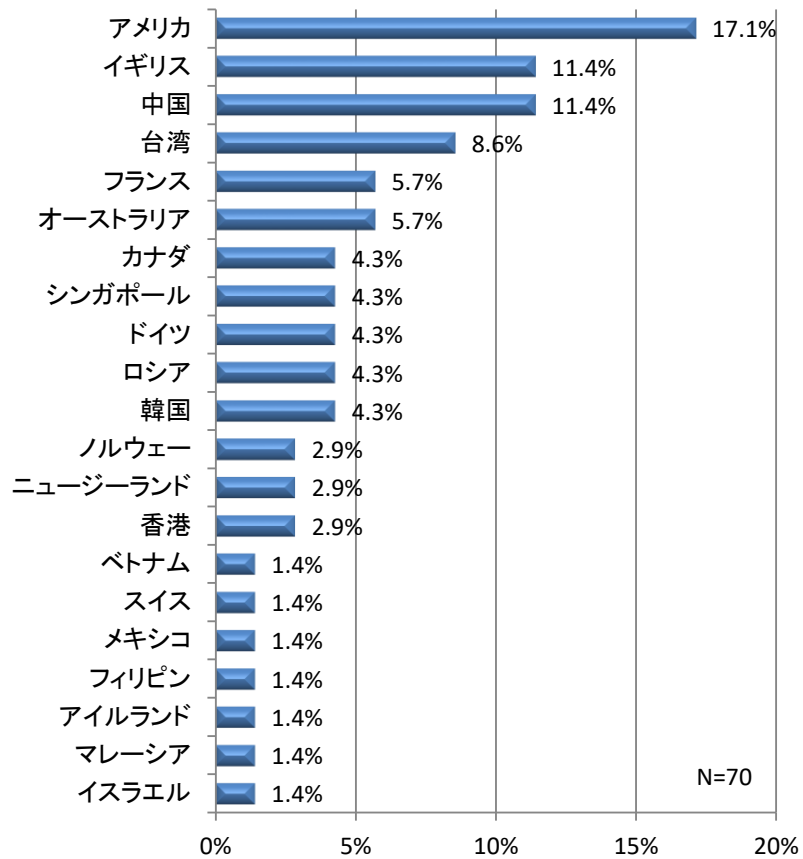
外国人客の年代は、「30代」25.7%、「40代」24.3%、「20代」22.9%の順となった。



図表 4-5 外国人客の年代

(3) 国籍

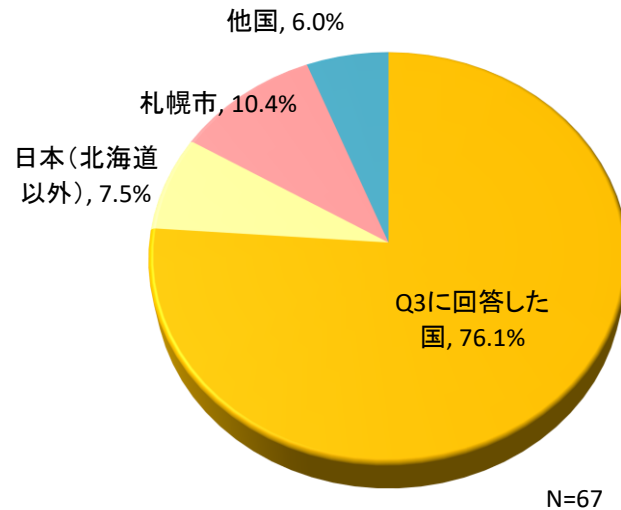
国籍別には、「アメリカ」17.1%（12人）、「イギリス」11.4%（8人）、「中国」11.4%（8人）が多かった。



図表 4-6 外国人客の国籍

(4) 居住地

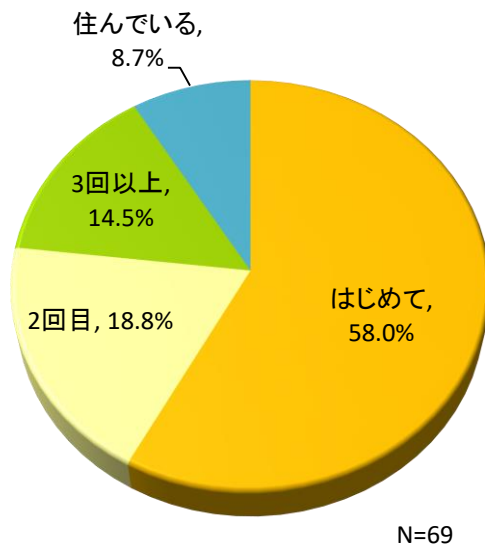
居住地を聞いたところ、76.1%が「国籍の国」であったが、「日本在住」は12人、うち「札幌在住」は7人であった。



図表 4-7 外国人客の居住地

(5) 札幌市への訪問経験

札幌市への訪問経験については、「はじめて」が58.0%と最も多いが、「2回以上」が33.3%となっている。

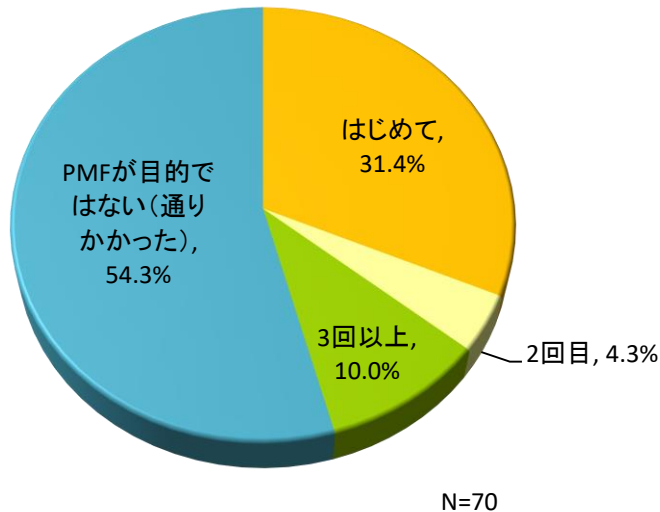


図表 4-8 札幌市への訪問経験

(6) PMF への来場経験

PMF への来場経験は、「はじめて」が 31.4%と最も多いが、「2 回目」が 4.3%、「3 回以上」が 10.0%と、リピーターも 14.3%となっている。

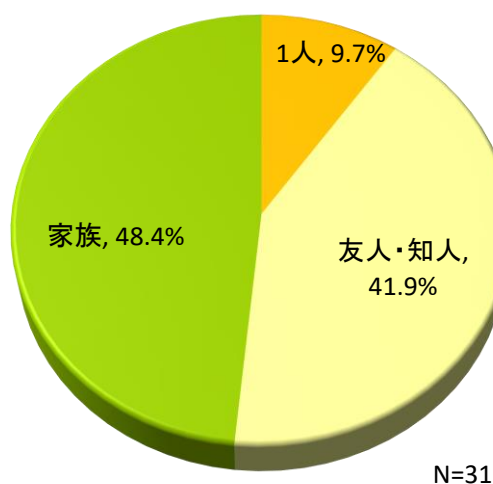
なお、対面によるインタビュー調査を実施した 7 月 25 日（木）のアカプラコンサートは無料の街頭コンサートであったため、「PMF が目的ではないが通りがかった」という回答が 54.3%に達した。



図表 4-9 札幌市への訪問経験

(7) 同行者

同行者については、「家族」が 48.4%、「友人・知人」が 41.9%と多い。「1 人」は 9.7%であり、「団体ツアー客」の回答は無かった。

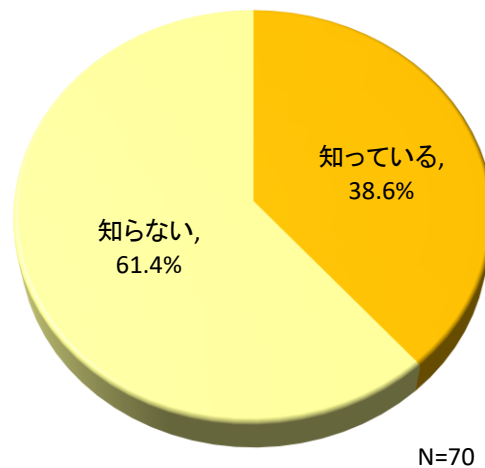


図表 4-10 札幌市への訪問経験

(8) PMF の認知度

PMF を事前知っていたかについては、「知っている」が 38.6%、「知らない」が 61.4% となった。

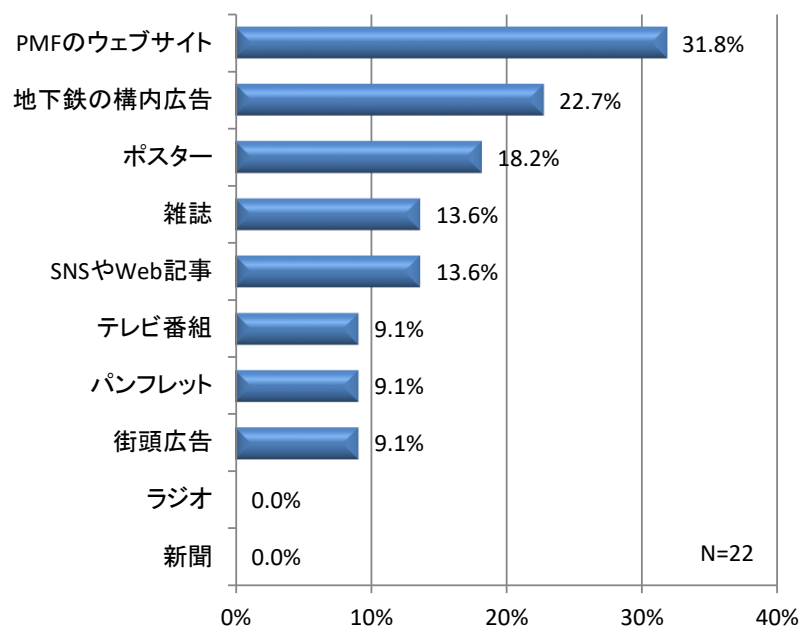
※アンケート回答者には Kitara 等での PMF コンサートの参加者や、アカプラ・オーロラプラザ等での街頭コンサートの参加者が混在しているため、数値の取扱いには注意を要する。



図表 4-11 PMF の認知度

(9) PMF を知ったきっかけ

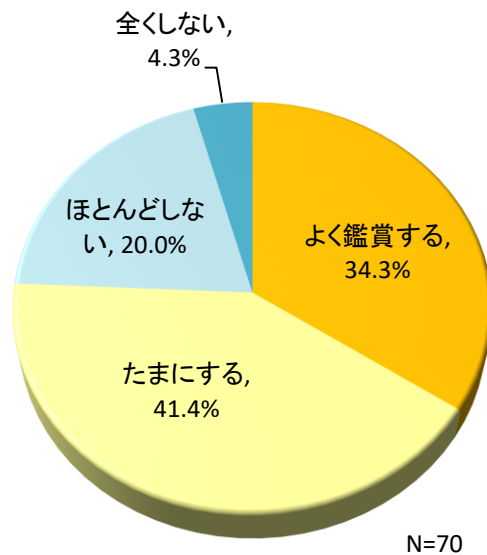
PMF を「知っている」回答者に対して、知ったきっかけを訪ねたところ、「PMF のウェブサイト」が 31.8%、「地下鉄構内の広告」が 22.7%、「ポスター」が 18.2% となった。



図表 4-12 PMF を知ったきっかけ

(10) 普段のコンサート鑑賞の経験

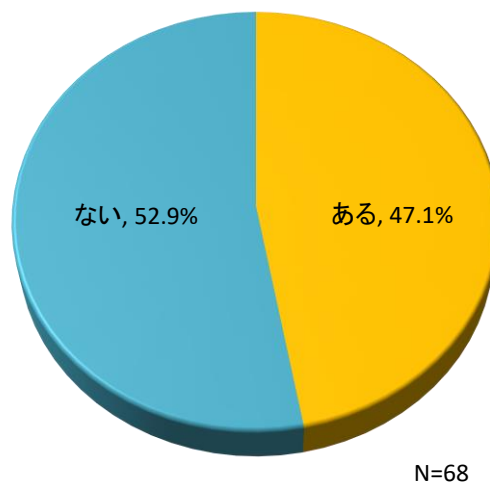
「よく鑑賞する」が 34.3%、「たまにする」が 41.4%、「ほとんどしない」は 20.0%、「全くしない」は 4.3%であった。7 割以上の回答者が、通常生活の中でコンサート鑑賞に参加しており、3 割は頻繁に参加している。



図表 4-13 PMF の認知度

(11) 海外旅行先でのコンサート・演劇鑑賞の経験

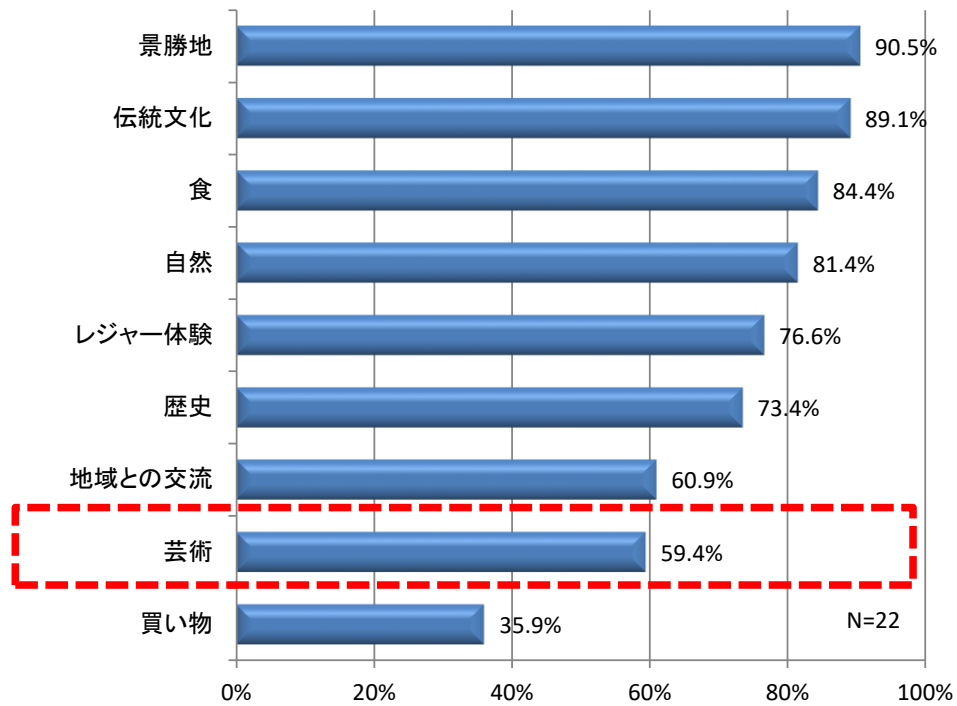
「経験がある」と答えた回答者が 47.1%にのぼった。



図表 4-14 海外旅行先でのコンサート・演劇鑑賞の経験

(12) 海外旅行先で関心があること・重視すること

海外旅行先で関心があること・重視することについて、項目別に5段階で評価してもらった。重要度（「とても重視」「重視」の合計）で比較すると、9割程度が重視する「景勝地」（90.5%）、「伝統文化」（89.1%）に対して「芸術」は59.4%であり、重要度が低い傾向がある。

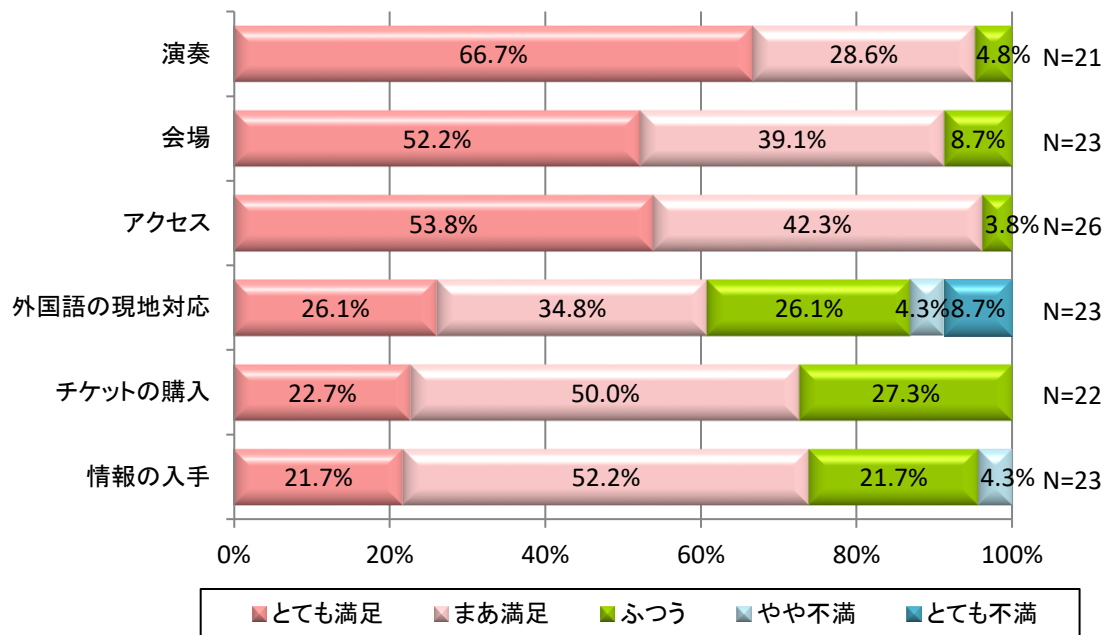


図表 4-15 海外旅行先で関心があること・重視すること
（「とても重視」「重視」の合計を降順で表示）

(13) PMF 公演の満足度

参加した PMF 公演の感想を項目別に 5 段階で評価してもらった。満足度（「とても満足」「満足」の合計）で比較すると、「アクセス」（96.2%）、「演奏」（95.2%）、「会場」（91.3%）で非常に高い評価を受けていることが分かる。

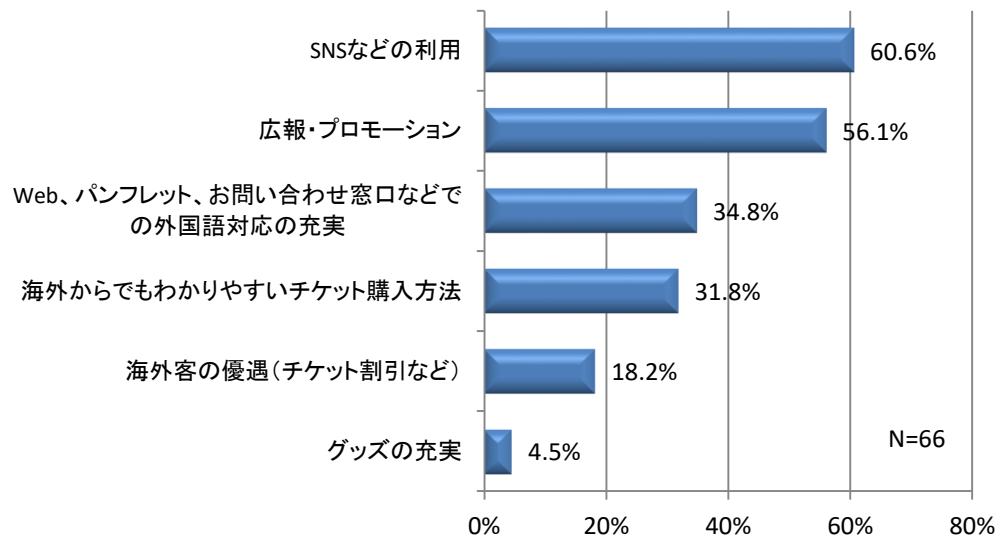
一方、「外国語の現地対応」については、満足度は 60.9%と相対的には低く、「やや不満」「不満」との評価も 1 割以上存在する結果となった。



図表 4-16 PMF 公演の満足度

(14) PMF において外国人客の来場を増やすための意見

外国人客の来場を増やすための方法として、「SNS などの利用」(60.6%)、「広報・プロモーション」(56.1%) が高い結果となった。



図表 4-17 外国人客の来場を増やすための意見

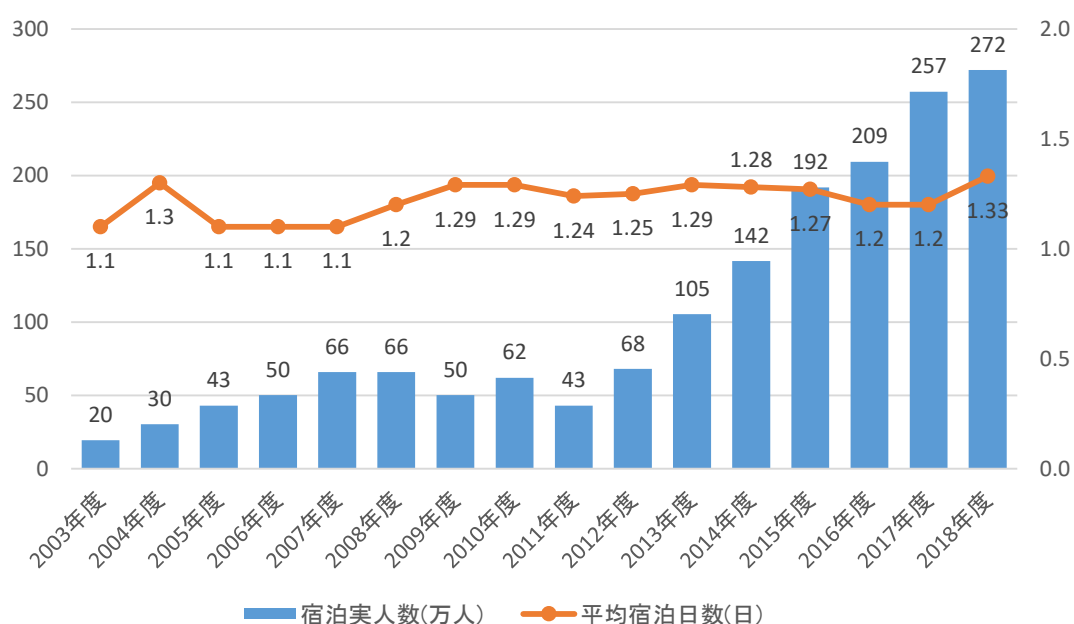
4-4 今後のインバウンド拡大に向けた考察

外国人ニーズ調査結果のほか、札幌市が実施する「観光客入込調査」、「宿泊施設利用状況調査」、公的機関等が実施する外国人観光客に関する調査結果等の資料も用いて、PMF2019 の開催に伴う観光インバウンドの効果検証及びインバウンドを拡大するための改善点について取りまとめる。

4-4-1 札幌市のインバウンドの状況

札幌市の外国人宿泊者数（実人数）は、2003 年度（平成 15 年度）の約 20 万人から、2018 年度（平成 30 年度）の約 272 万人となり、15 年間で約 23 倍に達している。その一方、平均宿泊日数は 1.33 泊（2018 年度）とそれほど増加していない。

2019 年度の外国人宿泊者数は、上期（4 月～9 月）として過去最多の約 127 万 4 千人となり、前年度上記の約 120 万 9 千人と比較して約 6 万 5 千人の増加（前年度比 5.4%増）となっている。



図表 4-18 札幌市の外国人宿泊者数の推移

図表 4-19 札幌市の外国人宿泊者数の推移(上期)

年 度	宿泊者数 (人)	増減率	延べ宿泊者数 (人泊)	平均宿泊日数
2015年上期	864,848	28.1%	1,083,403	1.25
2016年上期	894,019	3.4%	1,067,304	1.19
2017年上期	1,109,184	24.1%	1,313,089	1.18
2018年上期	1,209,459	9.0%	1,560,653	1.29
2019年上期	1,274,272	5.4%	1,751,856	1.37

4-4-2 観光インバウンド拡充の目標値と達成状況

(1) 目標値

PMF2019 の開催にあたっては、経済波及効果及び外国人宿泊者数について、次のとおり目標設定を行っている。

図表 4-20 PMF2019 開催にあたっての目標値

指標	目標値	備考
経済波及効果	5.5 億円	PMF2018(平成 30 年度)において算出した経済波及効果 5.1 億円を上回る数値を目標として設定。
外国人宿泊者数	125 万人 (2019 年度前半)	平成 30 年度に実施した宿泊施設利用状況調査による同年度上期の外国人宿泊者数約 120 万 9 千人より一定程度の増加が見込まれるものとして設定。

(2) 目標達成状況

目標値に対する実績値は下表のとおりである。

図表 4-21 PMF2019 開催にあたっての目標値

指標	目標値	実績値
経済波及効果	5.5 億円	7.9 億円 うち消費による効果 4.6 億円 うち開催経費による効果 3.2 億円
外国人宿泊者数	125 万人 (2019 年度上期)	127 万 4 千人 (2019 年度上期実績)

経済波及効果については、目標値 5.5 億円に対して実績値 7.9 億円と大幅に達成した。

このうち来場者消費による経済波及効果は、PMF2018 の 2.9 億円から 4.6 億円と大きく増加したが、これは来場者のうちとりわけ消費単価の高い道外客の来場者数が PMF2018 の 1,342 人から 2,851 人に増加したこと（前年比 212%増）等により、市内総消費額が約 2.0 億円から約 3.1 億円に押し上げられたことが大きく影響している。

図表 4-22 PMF2018-2019 の市内総消費額の比較

区 分		消費額単価 (円/人)	来場者数 (人)	総消費額 (億円)
札幌市民	2019	3,060	30,419	0.9
	2018	2,750	28,337	0.8
	前年比	△111%	△107%	△119%
札幌市以外に居住する道民	2019	10,647	6,117	0.7
	2018	9,859	4,494	0.4
	前年比	△108%	△136%	△147%
道外客	2019	54,664	2,851	1.6
	2018	54,721	1,342	0.7
	前年比	▲99.9%	△212%	△212%
合 計	2019	—	39,387	3.1
	2018	—	34,173	2.0
	前年比		△115%	△161%

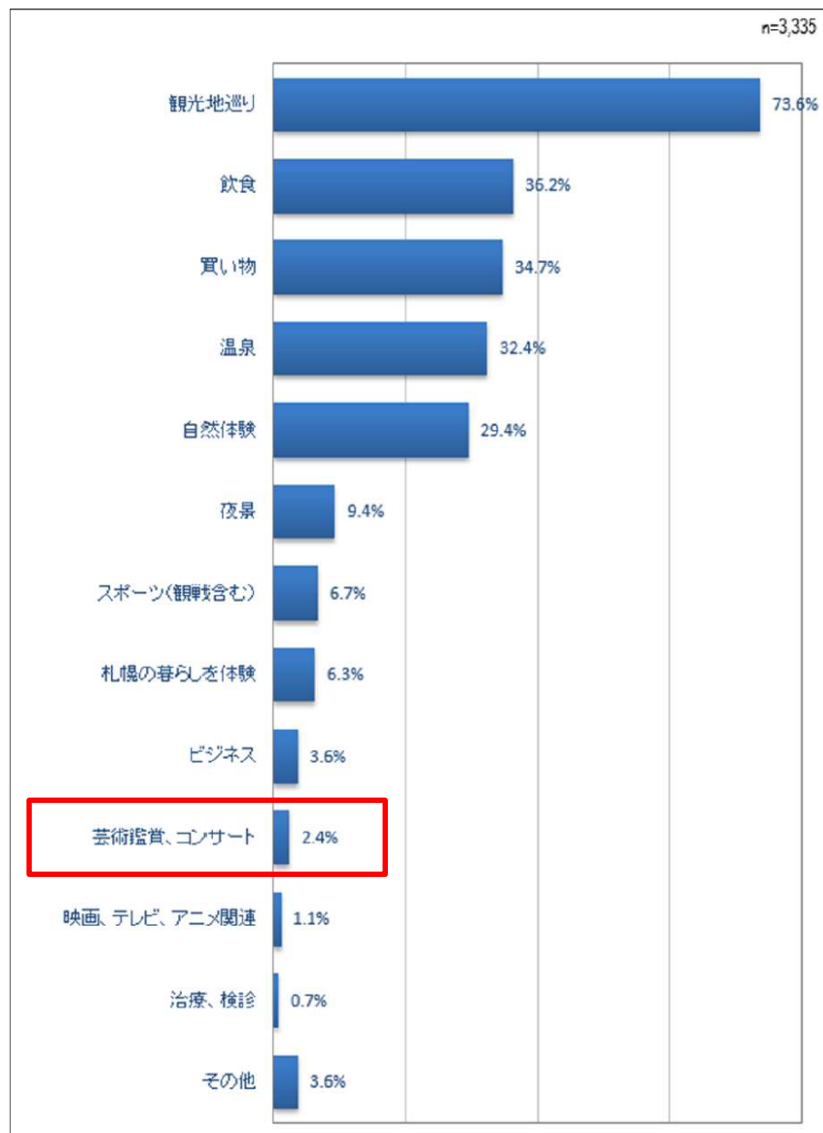
また PMF の開催経費による効果については、会場使用料、映像収録に伴う委託料、テレビ放送等の広告宣伝費が増加したこと等により、PMF2018 の 2.2 億円から 3.2 億円に増加している。

4-4-3 インバウンドを拡大するための改善点

(1) 外国人の消費動向

札幌市が2018年度（平成30年度）に外国人観光客を対象に実施した「平成30年度観光客動態調査業務報告書」によれば、札幌に来た目的として最も多いものは「観光地巡り」（73.6%）であり、「芸術・コンサート」はわずか2.4%にすぎない。

したがって、PMF などコンサート目的で来札する外国人観光客は、現状として非常に少ないと言える。



図表 4-23 札幌市の外国人客の来札目的

出典：札幌市経済観光局観光・MICE 推進部「平成30年度観光客動態調査業務報告書」

全国的な外国人客の消費動向をみると、全体の旅行支出のうち、音楽鑑賞等が含まれる娯楽への消費額が占める割合は少ない。

国土交通省観光庁が毎年実施している「訪日外国人消費動向調査（2018 年年間値）」によれば、全体で 147,907 円の旅行支出に対し「娯楽等サービス費」は 6,030 円（4.1%）であり、「舞台・音楽鑑賞」は 271 円（0.2%）である。

図表 4-24 訪日外国人客の一人当たり旅行支出額

国籍	全体	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	147,907	41,336	31,581	15,626	6,030	53,263	71
韓国	73,647	22,746	18,535	6,905	4,225	21,202	35
台湾	121,681	32,848	26,418	12,966	4,813	44,602	34
香港	153,501	45,133	36,202	16,858	5,203	50,074	31
中国	221,256	44,242	37,591	16,533	7,073	115,699	118
タイ	125,238	36,445	27,056	15,316	5,034	41,246	141
シンガポール	176,530	60,301	42,284	20,204	8,129	45,540	72
マレーシア	139,843	42,032	30,511	17,376	7,708	42,211	4
インドネシア	144,716	47,121	27,755	23,625	5,991	40,199	26
フィリピン	130,522	33,792	27,466	15,573	7,463	45,825	403
ベトナム	146,276	35,724	29,102	17,465	3,784	59,939	261
インド	149,013	56,010	28,977	28,384	7,487	28,155	0
英国	253,990	108,231	65,672	42,528	13,174	24,373	12
ドイツ	217,566	86,647	55,747	36,178	8,405	30,505	84
フランス	215,289	82,796	56,812	36,129	7,886	31,641	25
イタリア	220,438	85,501	56,095	41,830	7,933	28,656	423
スペイン	241,502	92,202	63,206	43,975	7,762	34,358	0
ロシア	184,480	61,499	38,454	25,723	7,800	51,004	0
米国	199,467	79,736	52,308	30,985	10,375	26,012	50
カナダ	189,506	73,774	48,995	30,276	8,822	27,509	130
オーストラリア	250,849	100,225	59,490	37,631	18,093	35,100	310
その他	215,714	87,631	53,608	34,820	7,242	32,412	0

出典：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018 年年間値）」

図表 4-25 訪日外国人客の娯楽等サービス支出の内訳

調査項目	全国籍・地域 消費単価
全体【A】	147,907
日本滞在中の 費目別支出 【A】	
娯楽等サービス費	6,030
現地ツアー・観光ガイド	827
ゴルフ場	60
テーマパーク	2,152
舞台・音楽鑑賞	271
スポーツ観戦	45
美術館・博物館・動植物園・水族館	1,053
スキー場リフト	357
温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション	369
マッサージ・医療費	137
展示会・コンベンション参加費	30
レンタル料（レンタカーを除く）	74
その他娯楽等サービス費	654

出典：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018 年年間値）」

来札した外国人客については、札幌市が平成 29 年度にとりまとめた「第 5 回札幌市観光産業経済効果調査」において、外国人客一人当たり消費単価 80,028 円のうち、「入場料・施設利用料」が 1,646 円 (2.1%)、そのうち「スポーツ観戦・芸術鑑賞 (コンサート・舞台・映画など)」は 353 円 (0.4%) となっており、全国値と同様の傾向がみられる。

図表 4-26 来札外国人客の市内消費単価

購入時期	No.	項目	札幌市民	札幌市以外に居住する道民			道外客			外国人客
				平均	(日帰り)	(宿泊)	平均	(日帰り)	(宿泊)	
前	1	カメラ・ビデオカメラ・眼鏡・時計	2	-	-	-	-	-	-	-
前	2	フィルム(使い捨てカメラ含む)・ビデオテープ	3	-	-	-	-	-	-	-
前	3	繊維製品(衣料品、帽子、ハンカチなど)	165	-	-	-	-	-	-	-
前	4	靴・カバン類	99	-	-	-	-	-	-	-
前	5	医薬品・化粧品(ハミガキ・シャンプーなど)	9	-	-	-	-	-	-	-
前	6	菓子類	113	-	-	-	-	-	-	-
前	7	飲料・お酒・タバコ・その他の食料品	90	-	-	-	-	-	-	-
前	8	本・雑誌・ガイドブック・CD・文具	25	-	-	-	-	-	-	-
前	9	スポーツ用具	147	-	-	-	-	-	-	-
前	10	電気製品・電池・メモリーカードなど	25	-	-	-	-	-	-	-
前	11	旅行関連用品のレンタル料	3	-	-	-	-	-	-	-
前	12	郵便・電話通話料・携帯電話端末	0	-	-	-	-	-	-	-
前	13	宅配便	16	-	-	-	-	-	-	-
前	14	旅行の打ち合わせ等での飲食費	7	-	-	-	-	-	-	-
前	15	旅行保険・クレジットカード入会金	53	-	-	-	-	-	-	-
前	16	美容室・理容室	79	-	-	-	-	-	-	-
前	-	その他	25	-	-	-	-	-	-	-
後	17	写真の現像・プリント	18	-	-	-	-	-	-	-
後	18	衣類のクリーニング	30	-	-	-	-	-	-	-
後	-	その他	1	-	-	-	-	-	-	-
中	19	飛行機(北海道内路線、遊覧飛行)	350	545	787	194	232	390	180	447
中	20	鉄道(JR)	610	940	900	999	2,272	1,250	2,609	1,472
中	21	地下鉄・市電	68	80	64	103	139	46	170	267
中	22	リフト・ロープウェイ	4	0	0	0	60	59	60	115
中	23	バス	147	431	224	730	1,103	770	1,212	446
中	24	タクシー・ハイヤー	133	102	48	180	398	139	483	766
中	25	船舶(遊覧船など)	1	1	0	2	2	0	3	4
中	26	レンタカー代	115	56	79	23	1,394	861	1,570	915
中	27	ガソリン代	953	505	420	629	168	96	192	323
中	28	有料道路・駐車料金	326	406	358	477	201	234	190	386
中	29	宿泊費(キャンプ場使用料含む)	548	2,112	0	5,174	10,043	0	13,352	13,343
中	30	食事・喫茶・飲酒	566	2,714	1,203	4,905	8,669	3,927	10,232	9,289
中	31	農産品(果物・野菜・花など)	37	253	279	216	212	203	214	1,847
中	32	農畜産加工品(ハム・ソーセージ・乳製品・ジャムなど)	17	123	79	188	153	102	170	1,336
中	33	水産品(鮮魚・魚介類など)	11	60	72	42	1,341	825	1,511	11,713
中	34	水産加工品(干物・練製品・魚卵など)	7	40	5	92	459	433	468	4,008
中	35	菓子類	243	515	185	994	1,361	1,004	1,478	11,884
中	36	お弁当・飲料・酒・茶葉・タバコ・その他の食料品	266	659	270	1,224	612	392	685	5,347
中	37	繊維製品(衣料品、帽子、ハンカチなど)	140	1,655	819	2,867	682	141	860	5,954
中	38	靴・カバン類	37	532	481	607	168	0	223	1,468
中	39	陶磁器・ガラス製品	4	50	21	92	9	36	0	79
中	40	絵葉書・本・雑誌など	13	120	110	134	37	20	43	324
中	41	木製の小物・家具・装飾品・和紙など	10	119	5	286	34	62	26	301
中	42	医薬品・化粧品(ハミガキ・シャンプーなど)	9	82	18	175	46	9	58	399
中	43	フィルム(使い捨てカメラ含む)・ビデオテープ	0	0	0	0	0	0	0	0
中	44	電気製品・電池・メモリーカードなど	18	79	78	79	22	0	29	192
中	45	カメラ・ビデオカメラ・眼鏡・時計	2	76	120	12	0	1	0	2
中	46	その他の製造品(文具・玩具など)	47	103	64	160	125	132	123	1,093
中	47	立ち寄り温泉・混浴施設・エステ	82	43	47	36	199	40	251	185
中	48	テーマパーク・遊園地・博覧会など	5	18	12	27	325	116	393	306
中	49	美術館・博物館・動物園・水族館・植物園など	20	21	14	32	112	30	139	105
中	50	ゴルフ場・テニスコートなど	87	42	15	82	304	285	310	301
中	51	スキー場リフト代	11	32	10	63	113	145	102	115
中	52	スポーツ観戦・芸術鑑賞(コンサート・舞台・映画など)	229	484	265	800	353	377	345	353
中	53	展示会・コンベンションなどの参加費	14	83	61	115	233	862	26	282
中	54	観光農園利用料	0	0	0	0	0	0	0	0
中	55	遊漁船(釣り・ホエールウォッチングなど)	3	0	0	0	0	0	0	0
中	56	ガイド料(自然体験・現地ツアー・スキー教室など)	0	21	32	5	55	6	72	165
中	57	レンタル料(自転車・キャンプ用品・スキーなど)	0	0	0	0	36	0	48	107
中	58	マッサージ	6	127	15	290	236	360	195	703
中	59	写真撮影代	0	11	9	13	10	9	11	30
中	60	郵便・電話通話料	0	3	2	4	0	0	0	0
中	61	宅配便	5	14	0	35	101	83	107	302
中	-	その他	152	559	350	863	1,145	961	1,206	3,417
中	-	旅行会社収入	40	0	0	0	0	0	0	0

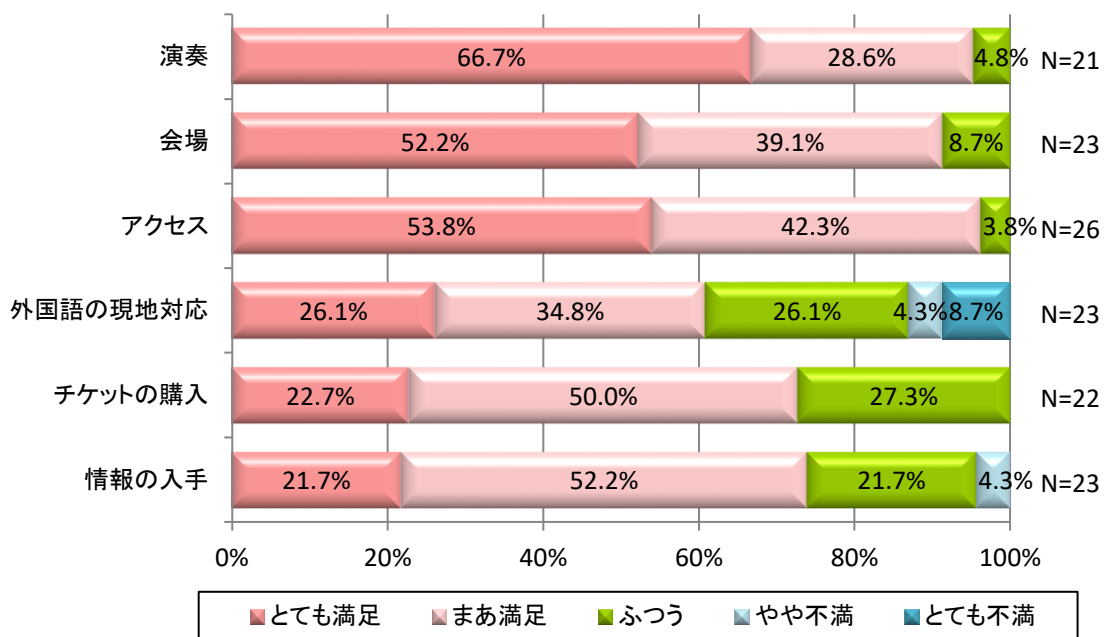
購入時期	No.	項目	札幌市民	平均	市以外の道民	平均	道外客	外国人客
					日帰り	宿泊	日帰り	宿泊
前	1	旅行前支出	860	-	-	-	-	-
後	2	旅行後支出	50	-	-	-	-	-
中	3	旅行中支出	5,338	13,818	7,521	22,949	33,165	14,405
中	4	旅行会社収入	40	0	0	0	0	0
中	5	交通費	2,706	3,066	2,879	3,338	5,969	3,845
中	6	宿泊費	548	2,112	0	5,174	10,043	0
中	7	飲食費	566	2,714	1,203	4,905	8,669	3,927
中	8	土産・買物代	862	4,469	2,608	7,168	5,262	3,360
中	9	入場料・施設利用料	452	723	425	1,155	1,638	1,855
中	10	その他の支出	163	735	408	1,210	1,584	1,418
中	11	観光消費額合計	6,248	13,818	7,521	22,949	33,165	14,405

出典：札幌市経済観光局観光・MICE 推進部「第 5 回札幌市観光産業経済効果調査報告書」

このように、食事や買い物などの「モノ消費」ではなく、体験などの「コト消費」が少ないことはインバウンドの状況として全国的な共通課題といえることができる。コンサート・音楽鑑賞をはじめとして、スポーツ観戦、アクティビティや文化体験など、それ自体を旅行目的とする「コト消費」を促進することにより滞在日数を増やし、連鎖的に宿泊費や飲食費などが増加することで全体の観光消費を押し上げることができる。

(2) PMF など音楽鑑賞を旅行目的とする外国人客を増やす取組

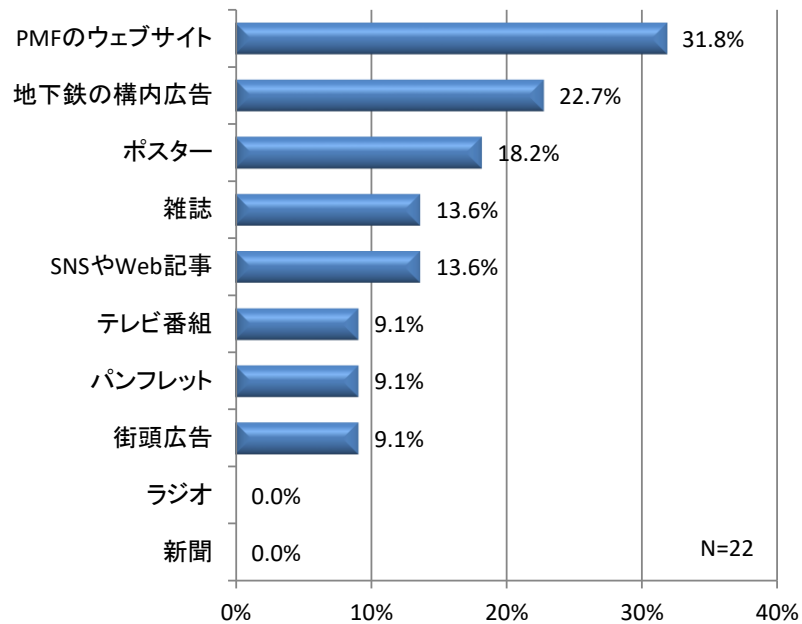
今回の調査結果では、参加した PMF 公演の満足度について、「アクセス」(96.2%)、「演奏」(95.2%)、「会場」(91.3%) で非常に高い評価を受けた一方で、「外国語の現地対応」(60.9%) と相対的に低かった。



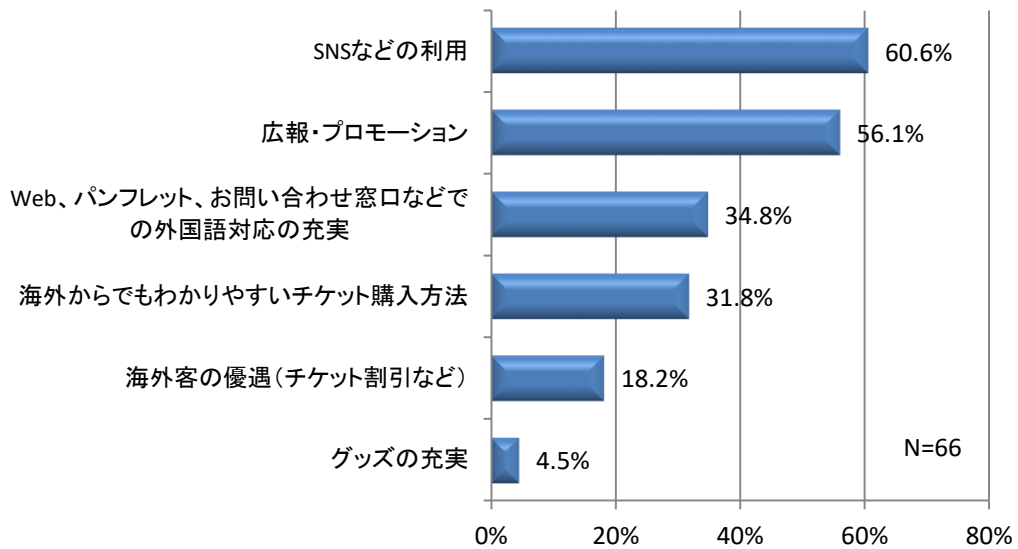
図表 4-27 PMF 公演の満足度(再掲)

また、PMF を知ったきっかけを訪ねたところ、「PMF のウェブサイト」が 31.8% と最も多かったが、「地下鉄構内の広告」が 22.7%、「ポスター」が 18.2%、「雑誌」が 13.6% となっており、来札後に PMF の存在を知って参加した外国人客も一定数存在すると推察され、札幌市内においていかに PMF の開催を PR するかが重要である。

それら PMF の認知度向上に向けては、アンケートでは「SNS などの利用」(60.6%)、「広報・プロモーション」(56.1%)、「Web、パンフレット、お問い合わせ窓口などでの外国語対応の充実」(34.8%) が高い結果となっており、従来の広告・ポスター掲示以外に、情報発信手段の中でもリアルタイムの情報が広がりやすい SNS での情報発信も効果的ではないかと考えられる。



図表 4-28 PMF を知ったきっかけ(再掲)



図表 4-29 外国人客の来場を増やすための意見(再掲)